

# 平成29年度現在の 真庭圏域の保健課題(抜粋)

真庭保健所長  
井上康二郎

1

## データについて

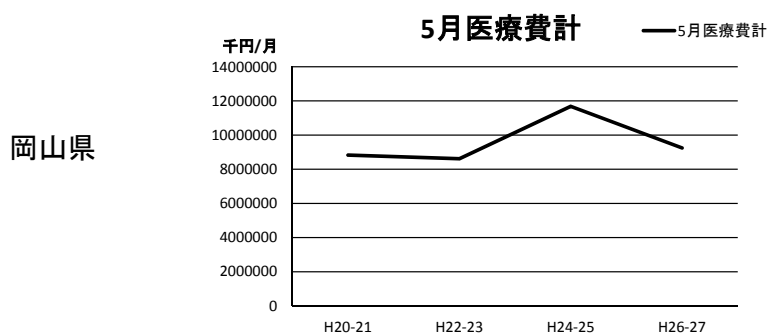
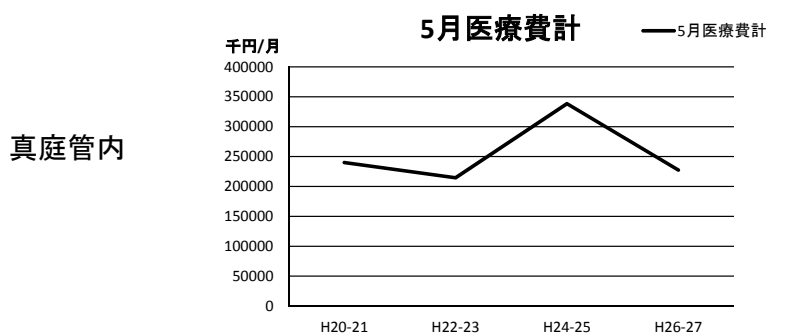
- 医療費の変化、内訳は、国保5月診療分データ(74歳まで)からである。
- 医療費は、千円/月、コストは千円/件数
- SCR、SMRは、それぞれ、国保5月診療分の受診率と死亡率からの年齢調整比であり、H20-21年の県の率を1とした比である。H28単独の場合は、H20年の率を1とした場合である。

2

# 医療費の変化、内訳 (国保5月診療分からの推定)

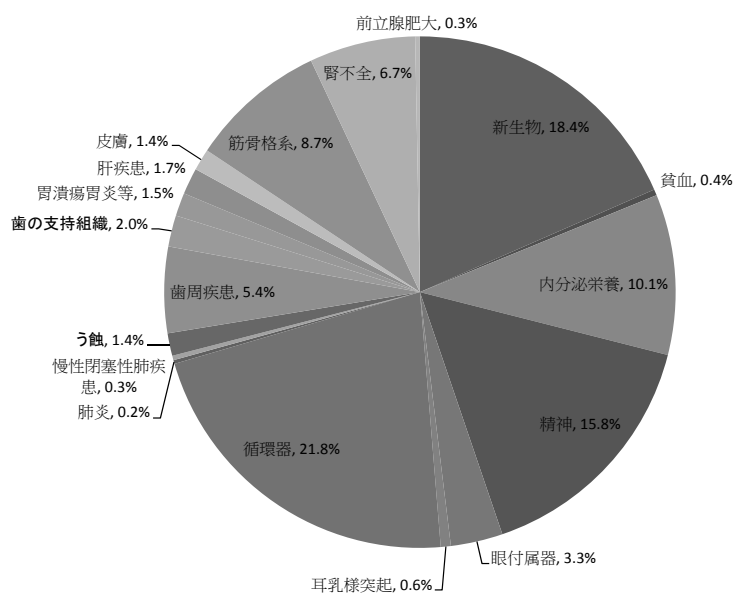
3

## 国保5月診療分(74歳まで)の変化



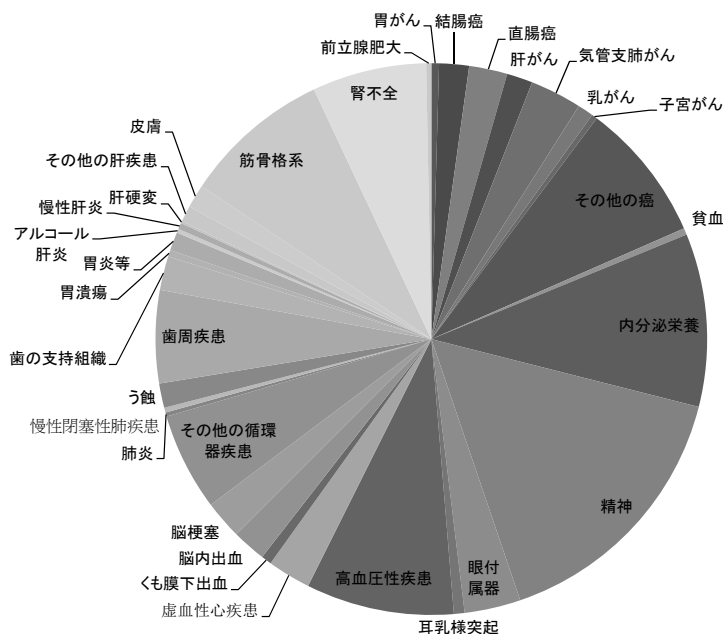
4

## H26-27の国保5月診療分医療費(74歳まで)の内訳



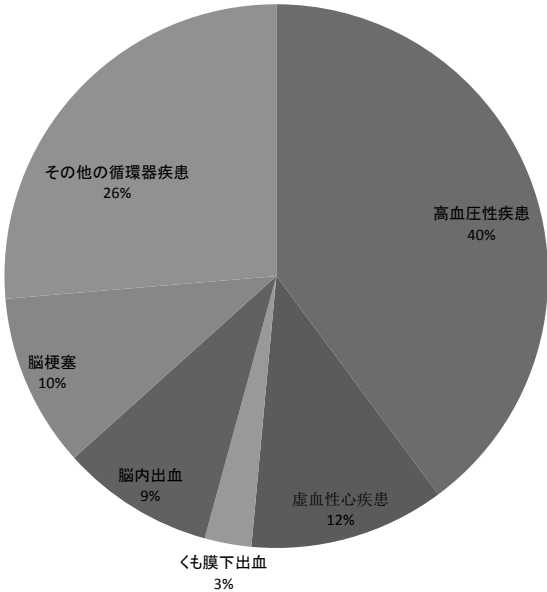
5

## H26-27の国保5月診療分医療費(74歳まで)の内訳



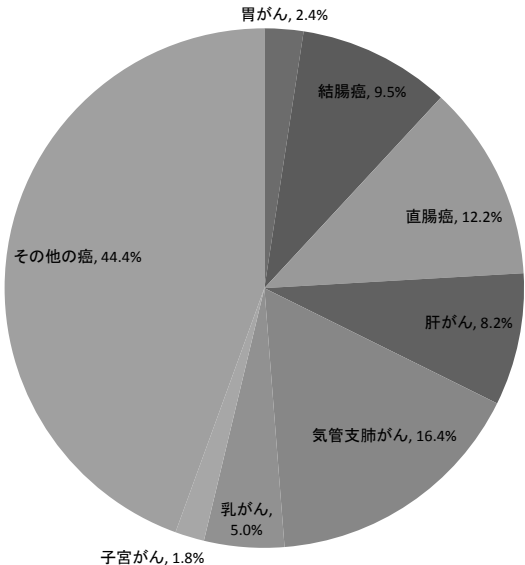
6

# H26-27の国保5月診療分医療費内訳 (循環器疾患:推定)



7

# H26-27の国保5月診療分医療費(74歳まで)の内訳(新生物)



8

## 医療費のまとめ

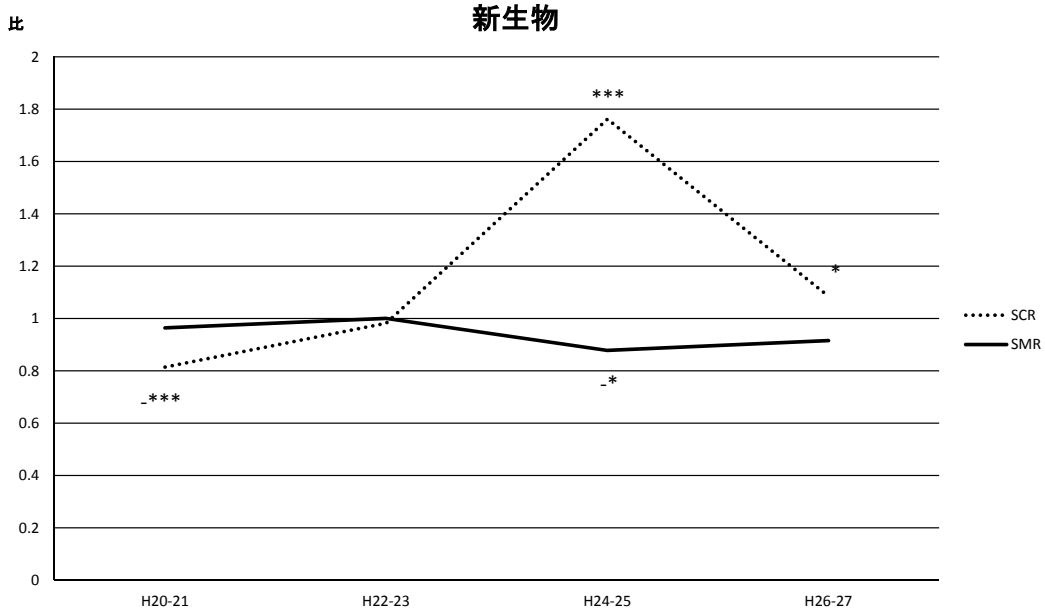
- 5月診療分を見る範囲では、真庭圏域が経年で減少しており、岡山県でも同様である。
- 1位:循環器疾患、2位:新生物、3位:精神疾患、4位:内分泌栄養
- 循環器疾患の中で  
1位:高血圧性疾患、2位:虚血性心疾患、3位:脳梗塞、4位:脳内出血
- 新生物の中で  
1位:気管支肺がん、2位:直腸癌、3位:結腸癌、4位肝がん、5位:乳がん

9

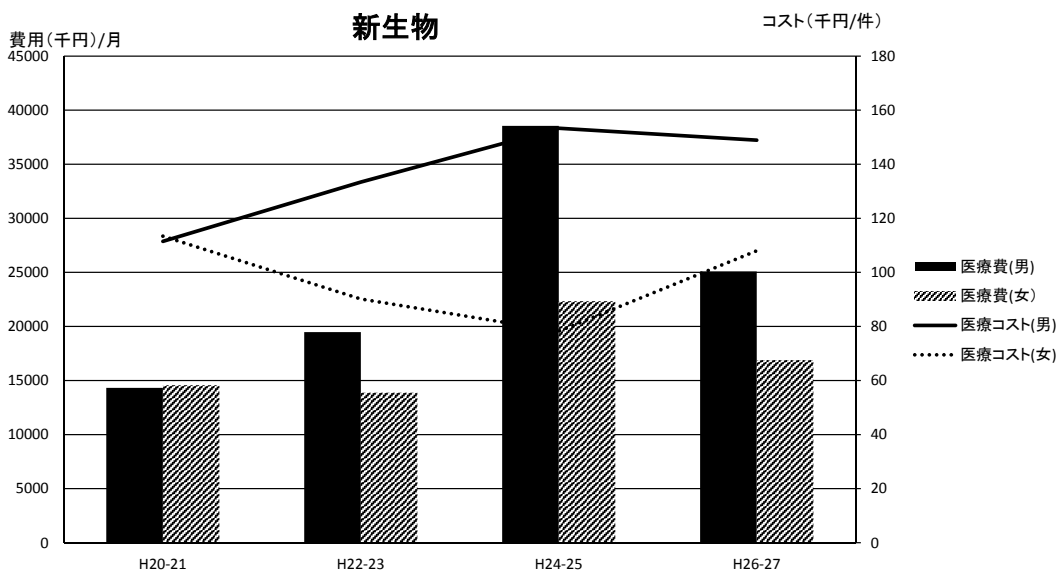
## 悪性新生物

10

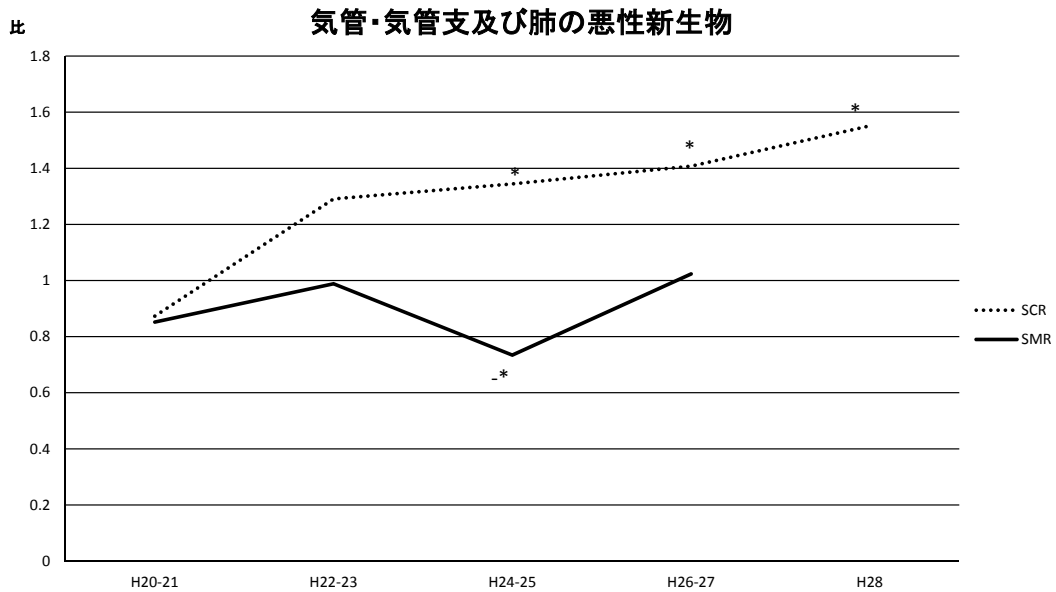
# 新生物の死亡と受診



# 新生物の医療費、コスト

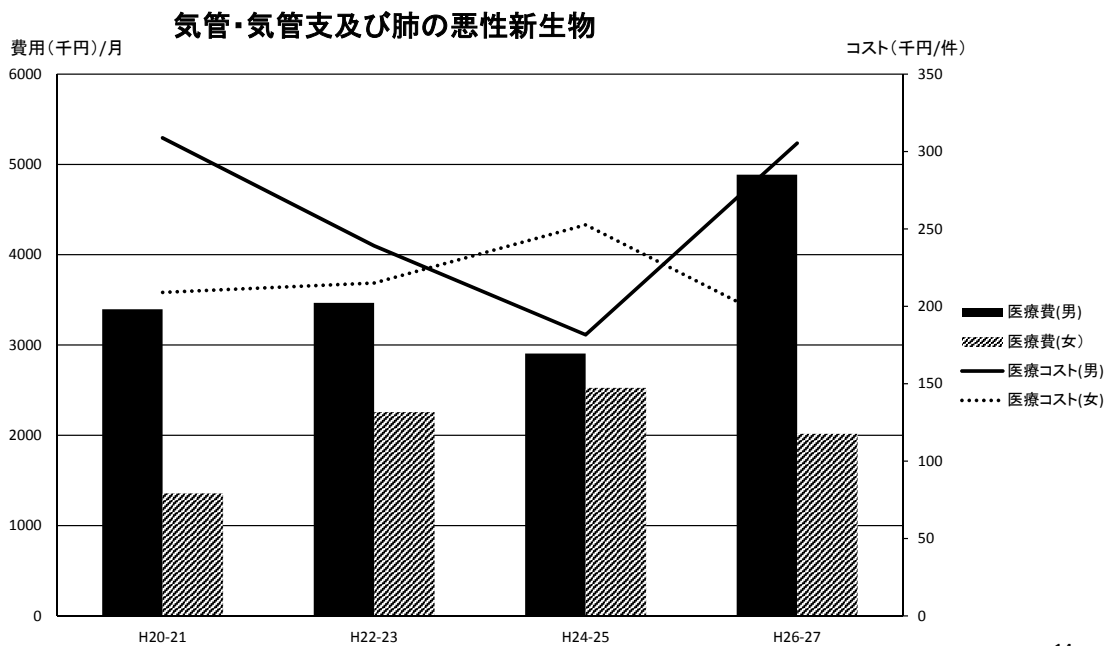


# 気管・気管支及び肺の悪性新生物の 受診と死亡



13

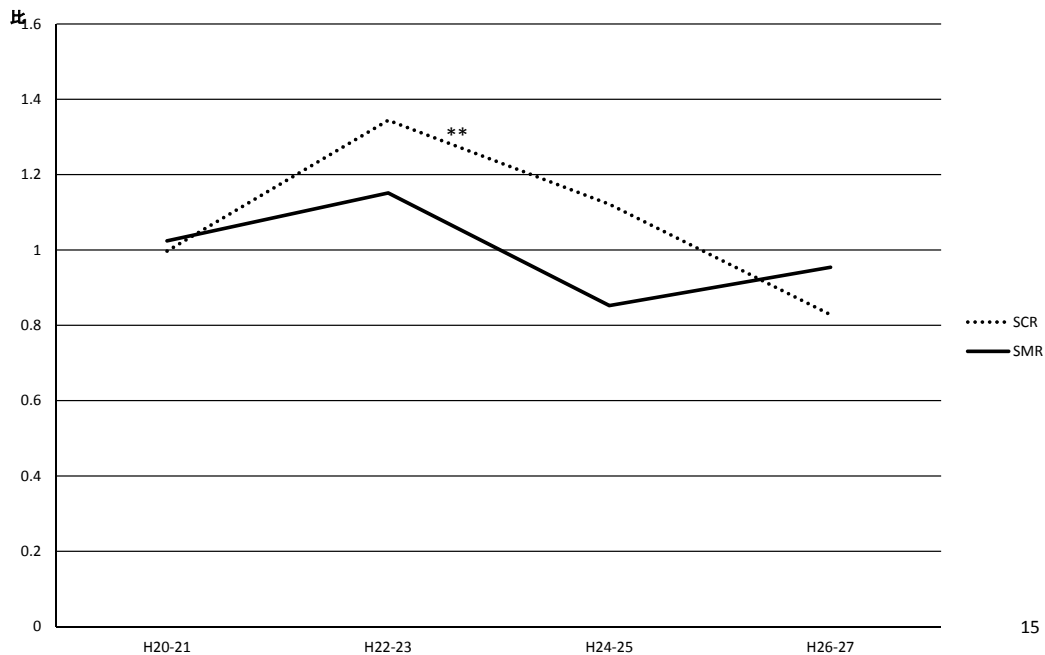
# 気管・気管支及び肺の悪性新生物の 医療費、コスト



14

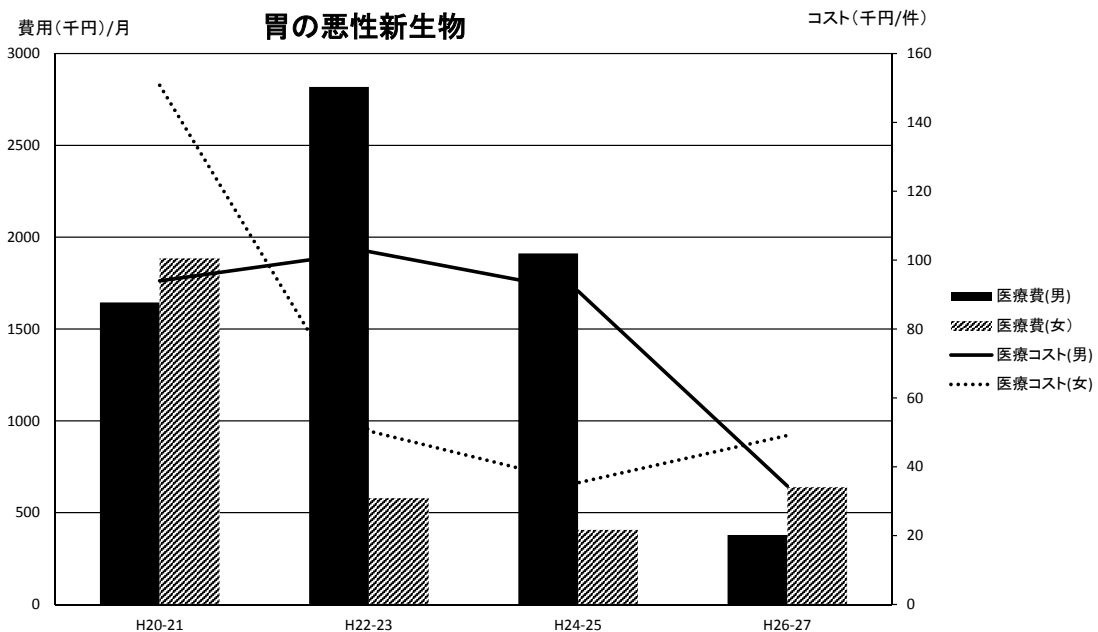
# 胃がんの死亡、受診について

胃の悪性新生物



15

# 胃がんの医療費、コスト

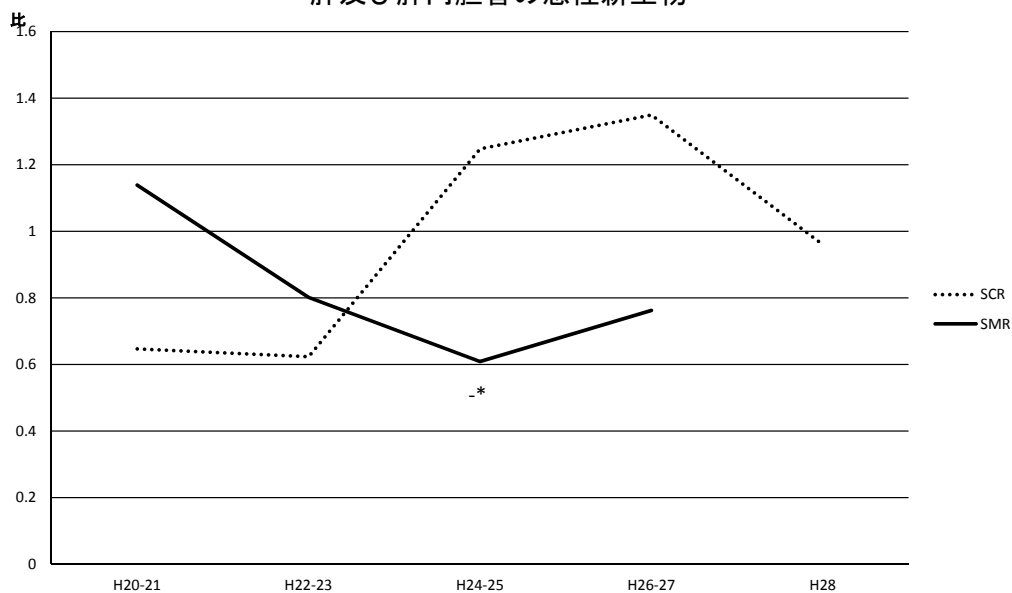


16



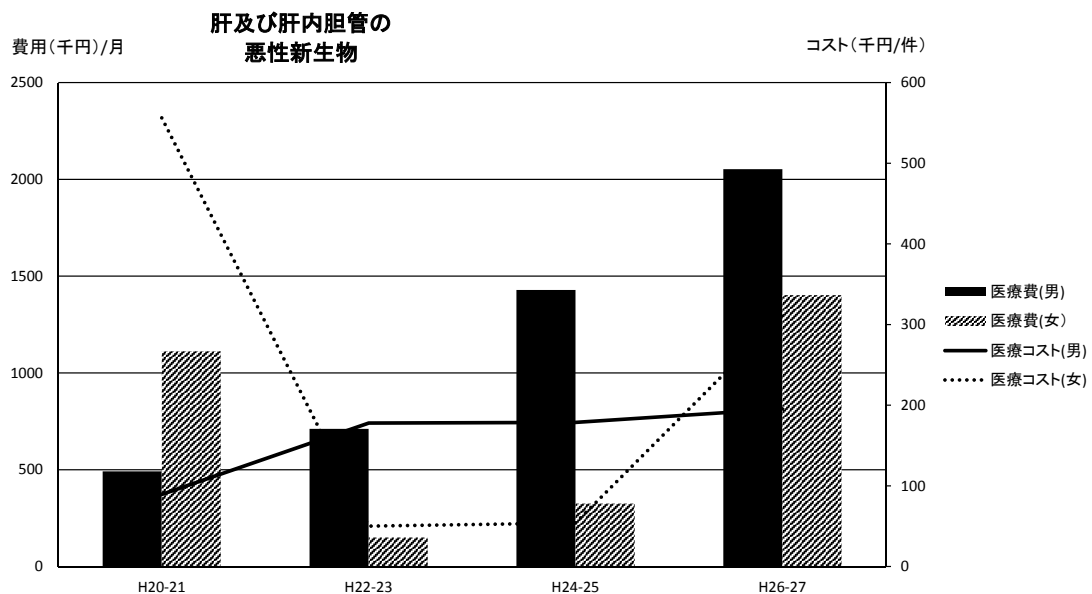
# 肝及び肝内胆管の悪性新生物 の死亡、受診について

肝及び肝内胆管の悪性新生物



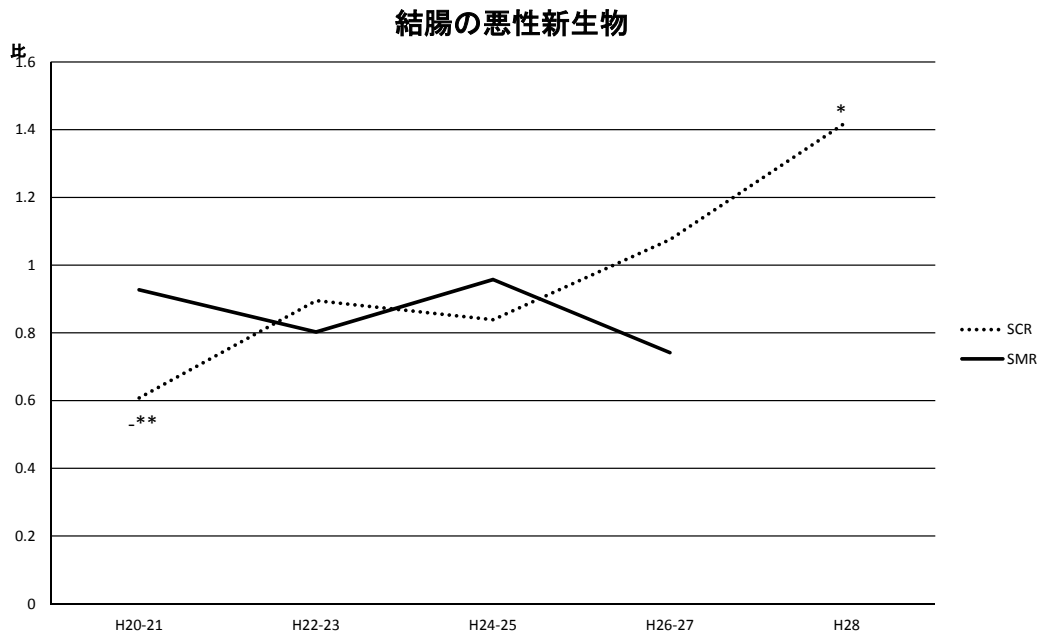
17

# 肝及び肝内胆管の悪性新生物 の医療費、コスト



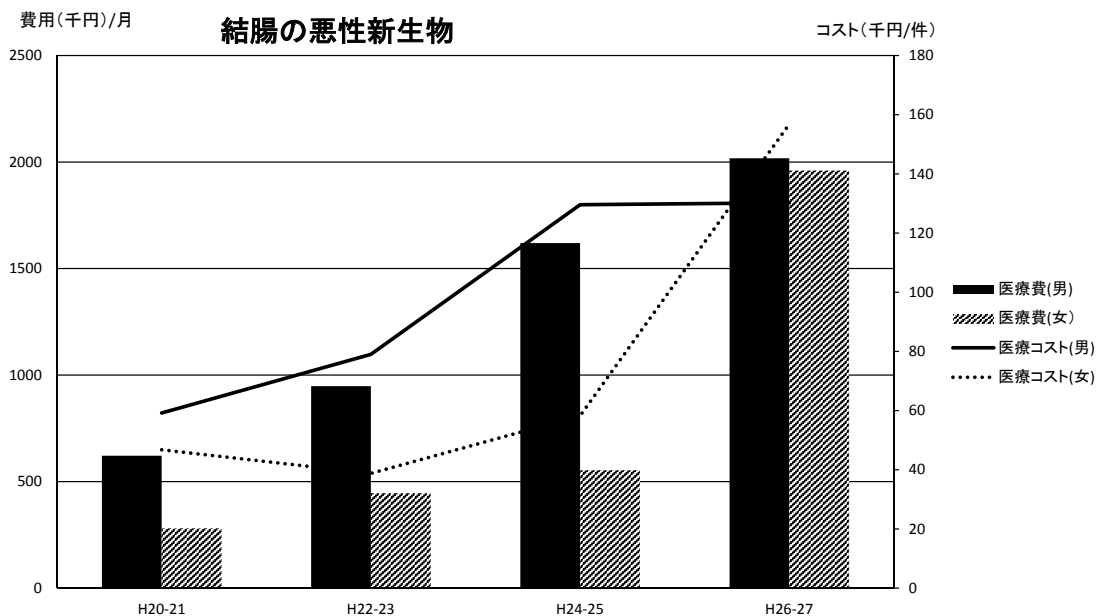
18

# 結腸の悪性新生物の死亡、受診



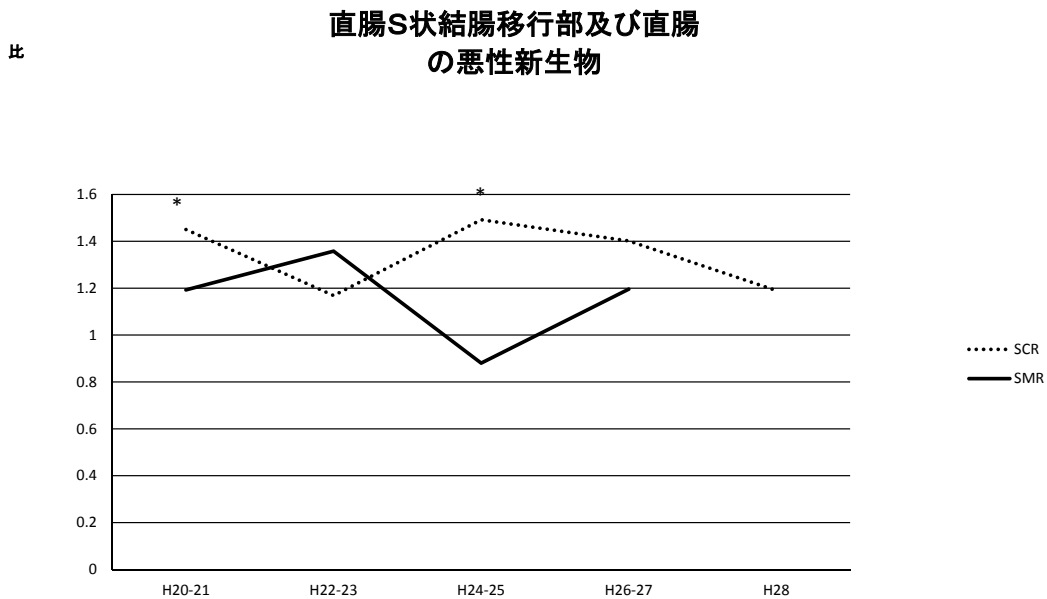
19

# 結腸の悪性新生物の医療費、コスト



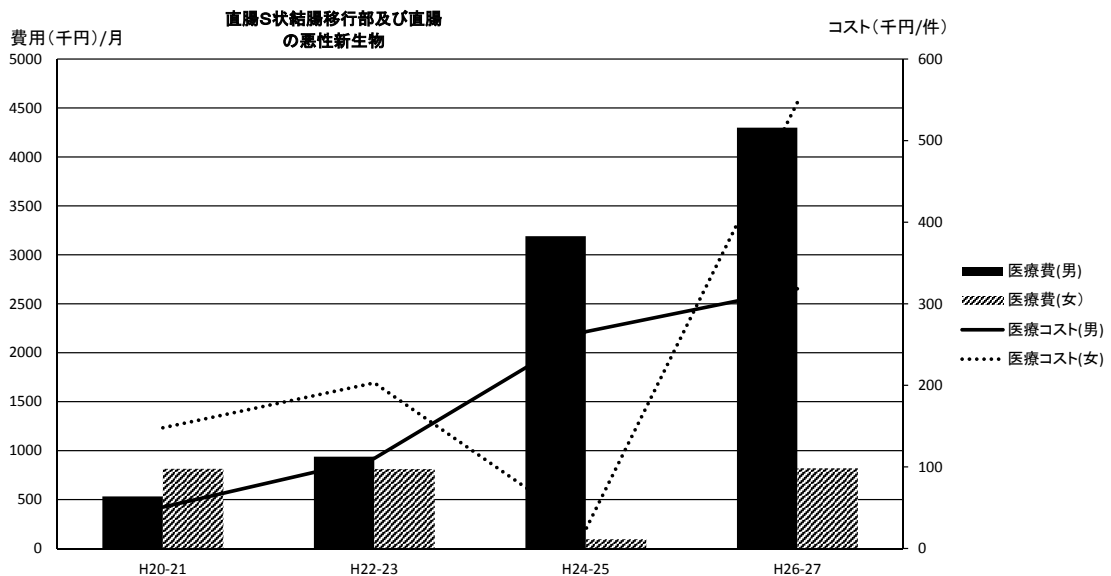
20

# 直腸S状結腸の悪性新生物の死亡、 受診



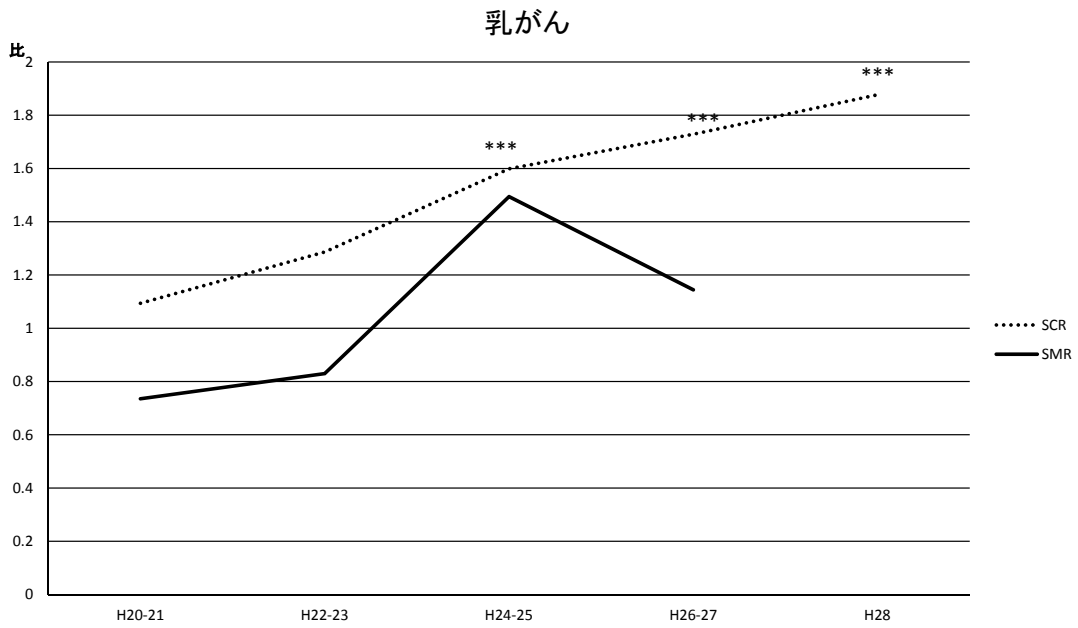
21

# 直腸S状結腸の悪性新生物の医療 費、コスト

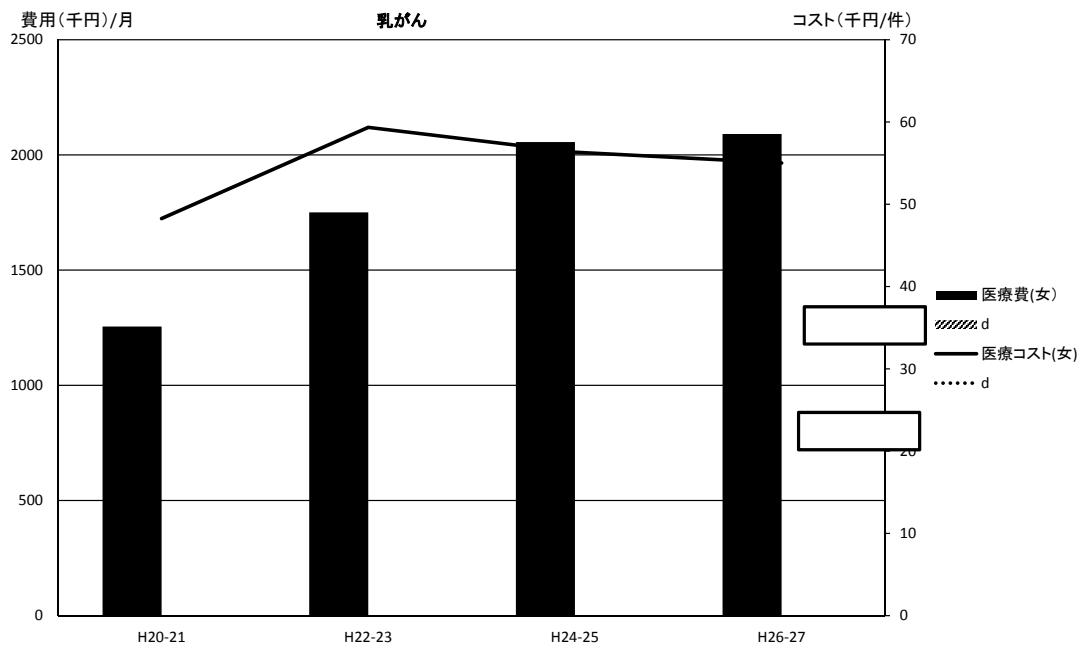


22

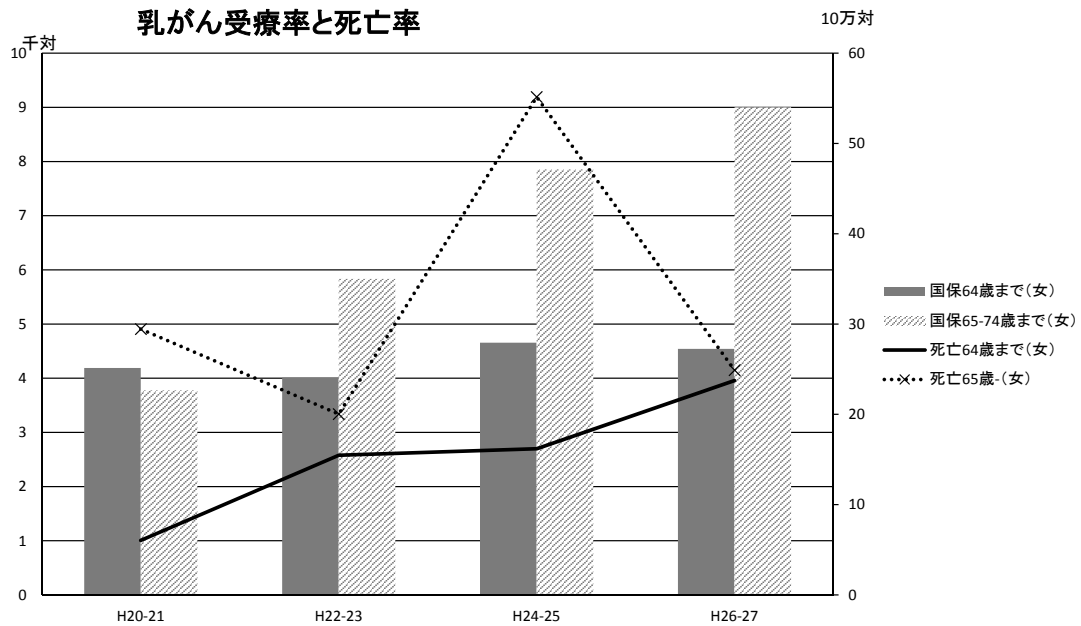
# 乳がんの死亡、受診



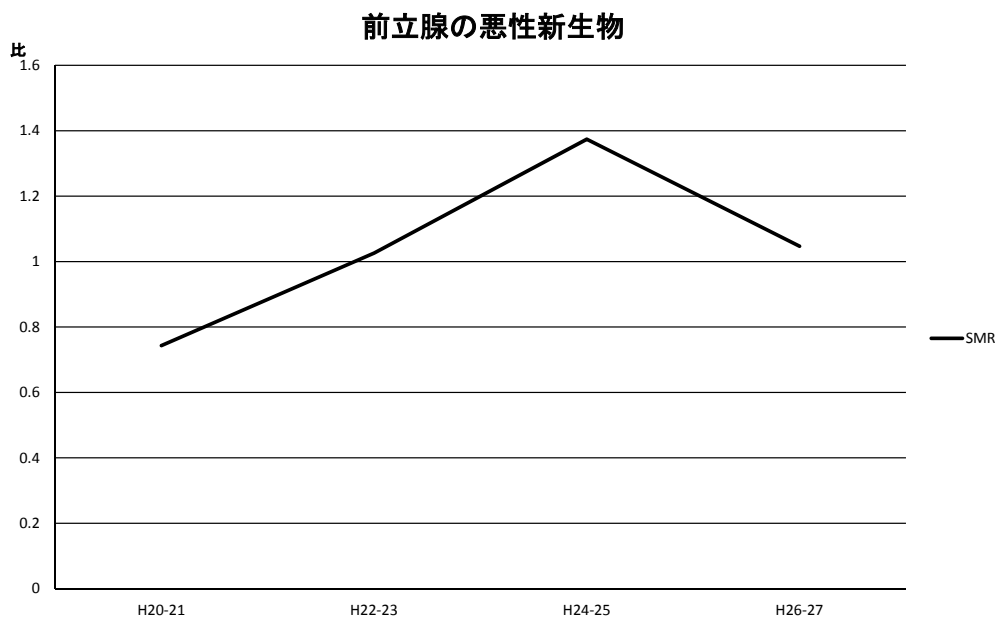
# 乳がんの医療費、コスト



# 乳がんの年齢階級別



# 前立腺の悪性新生物の死亡



## 悪性新生物のまとめ

- 医療費、コストとも増加傾向
- 特に、上昇しているのは、結腸癌と乳がん、また肺がんも受診が上昇している。

27

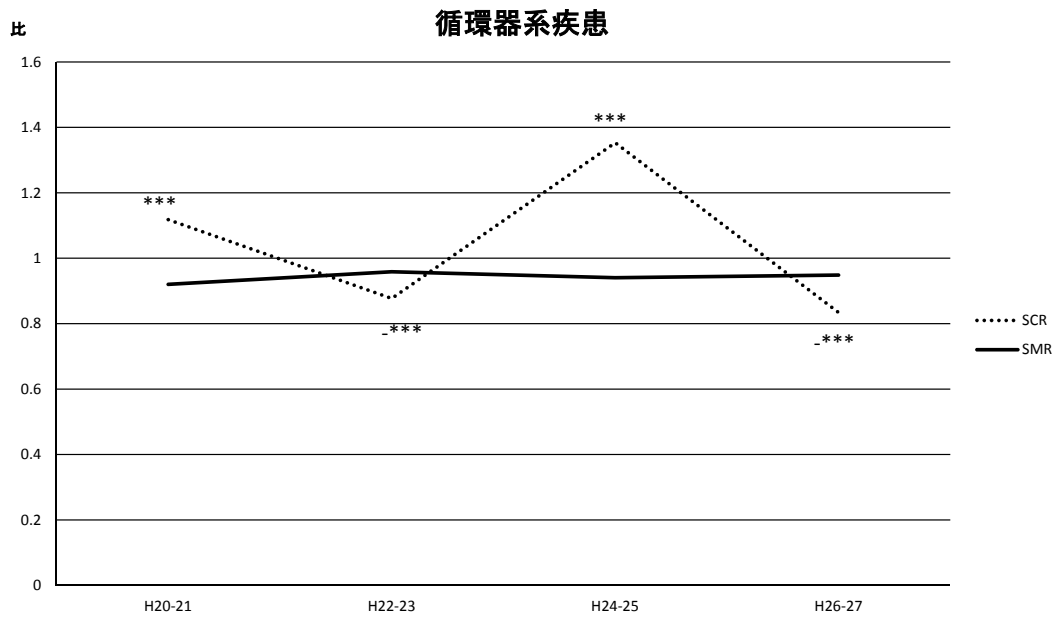
27

## 循環器系疾患

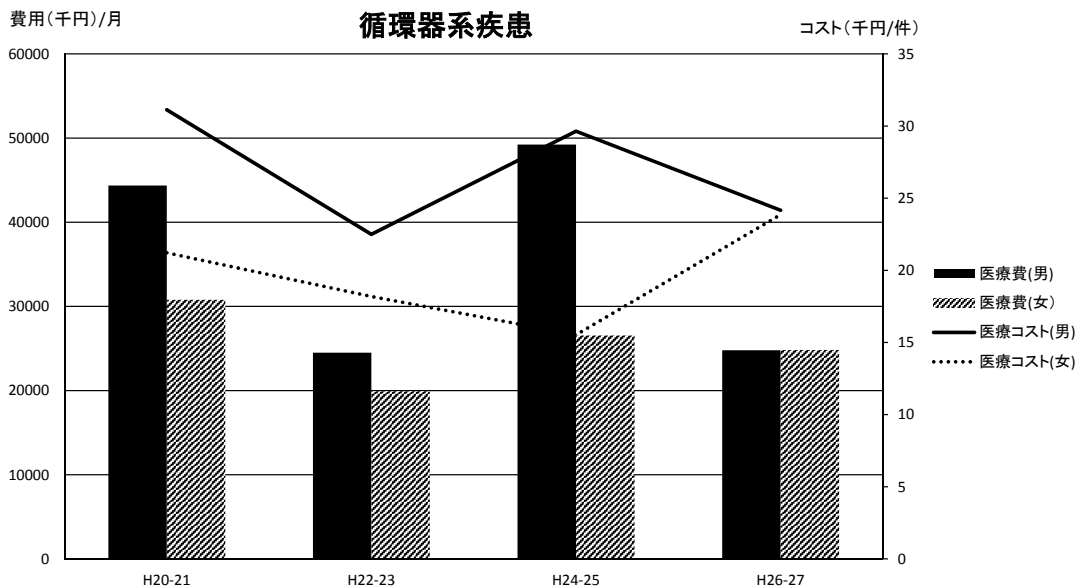
28

28

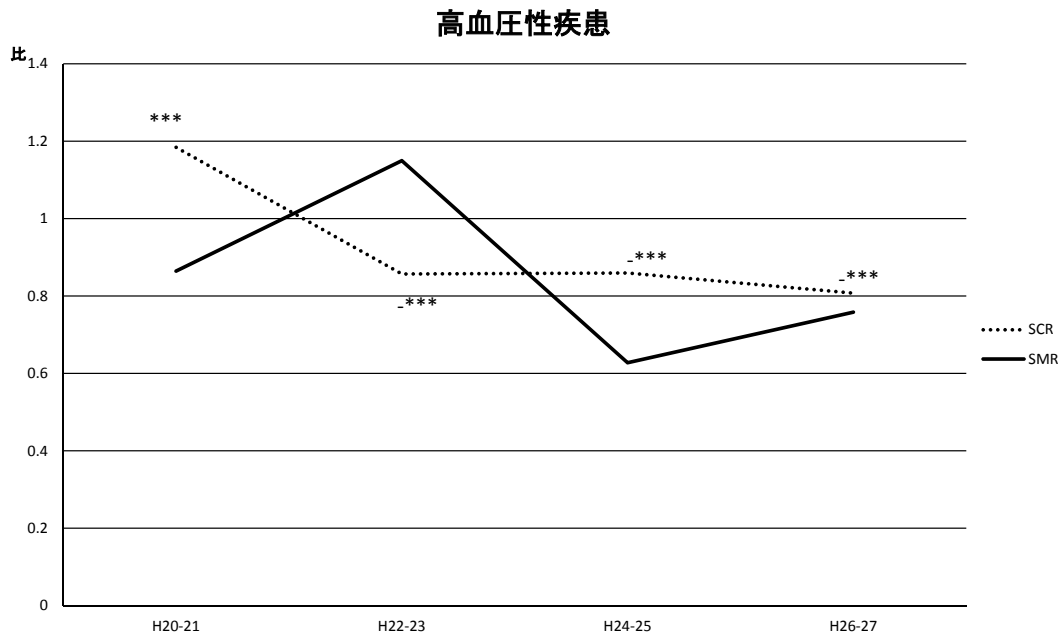
# 循環器系疾患の死亡と受診



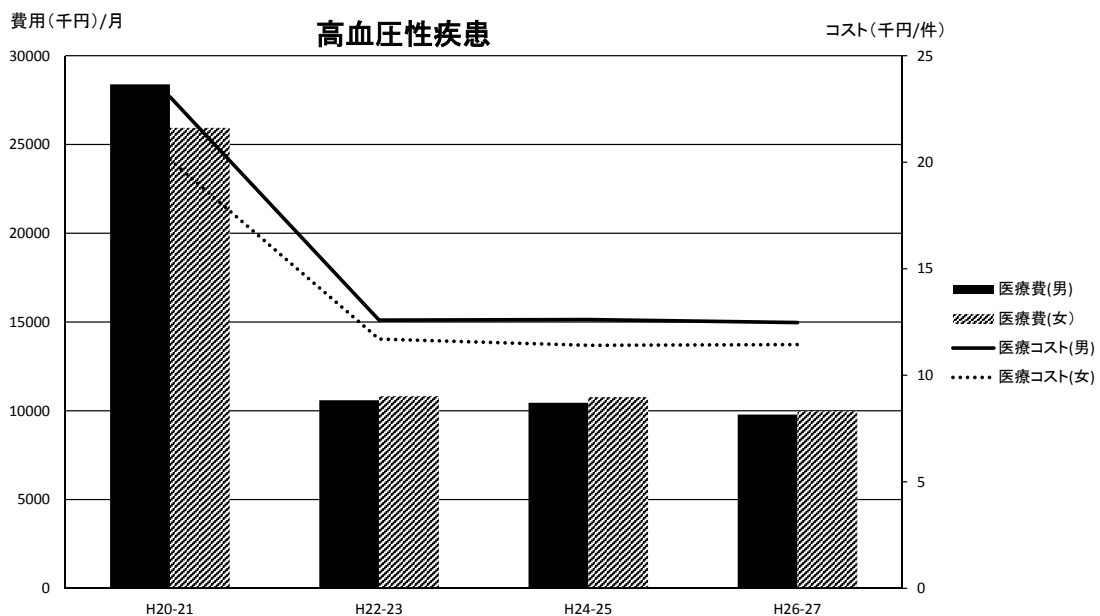
# 循環器系疾患の医療費、コスト



# 高血圧性疾患の死亡と受診

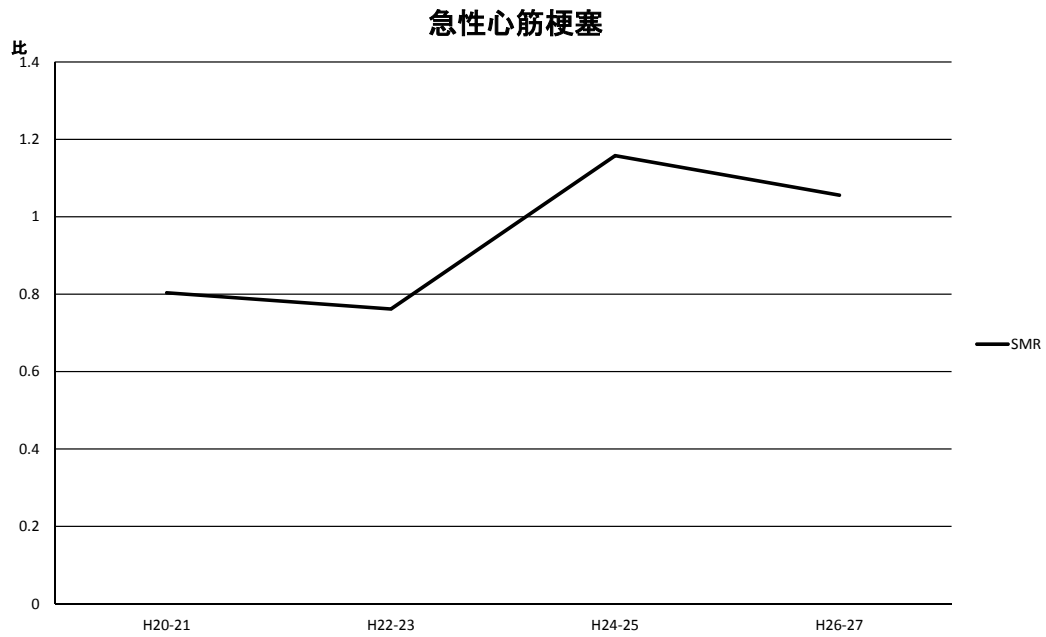


# 高血圧性疾患の医療費、コスト



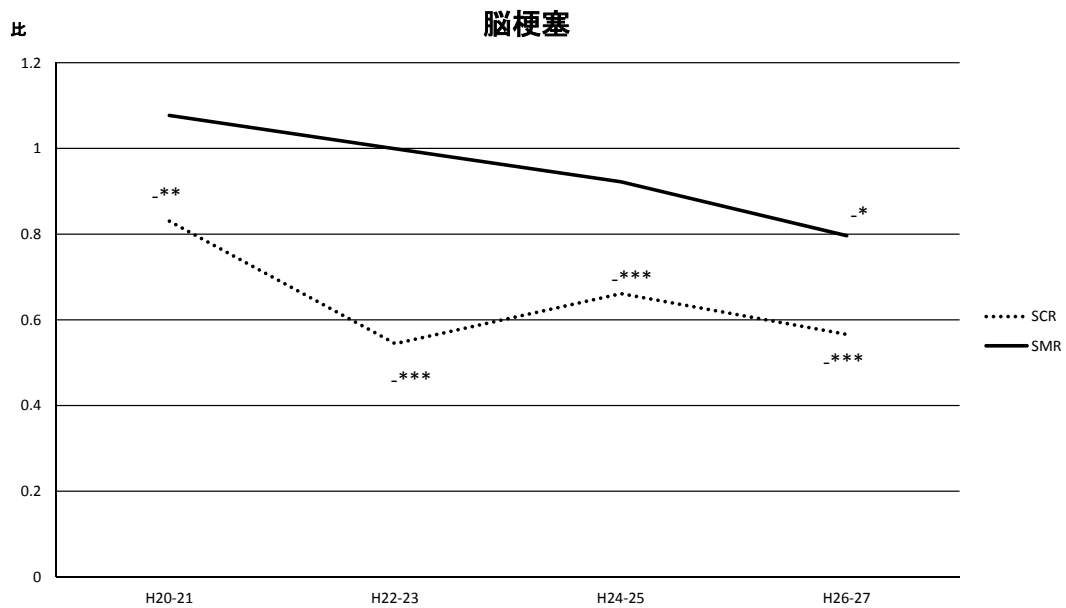


# 急性心筋梗塞の死亡



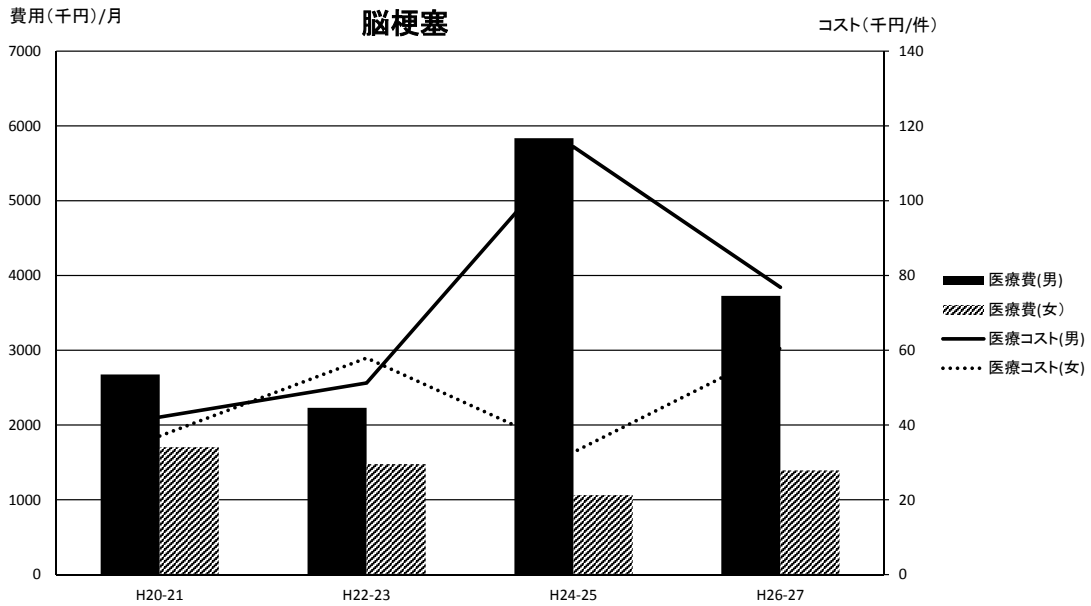
33

# 脳梗塞の死亡と受診



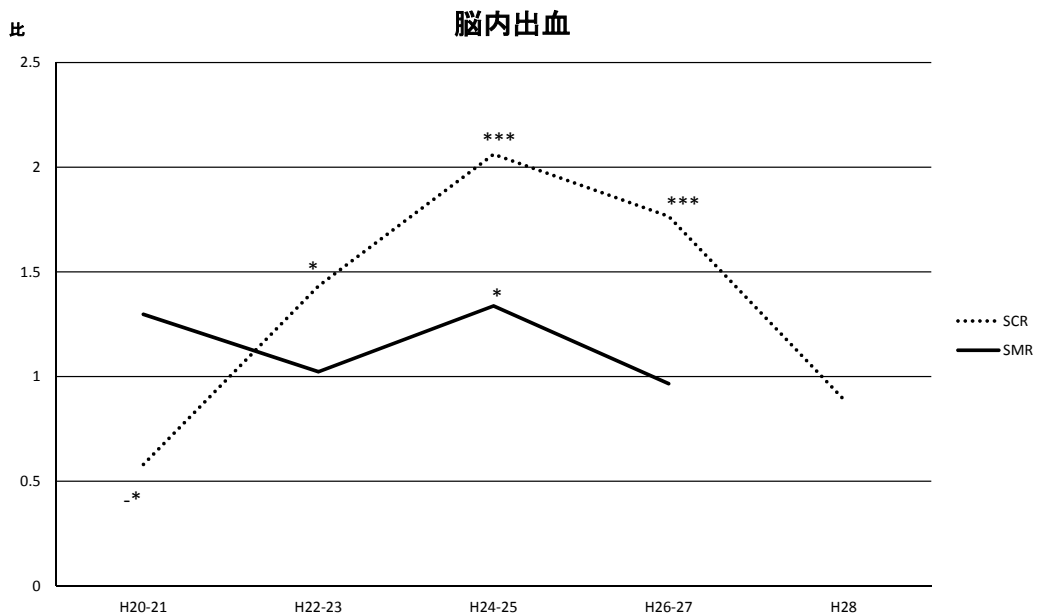
34

# 脳梗塞の医療費、コスト



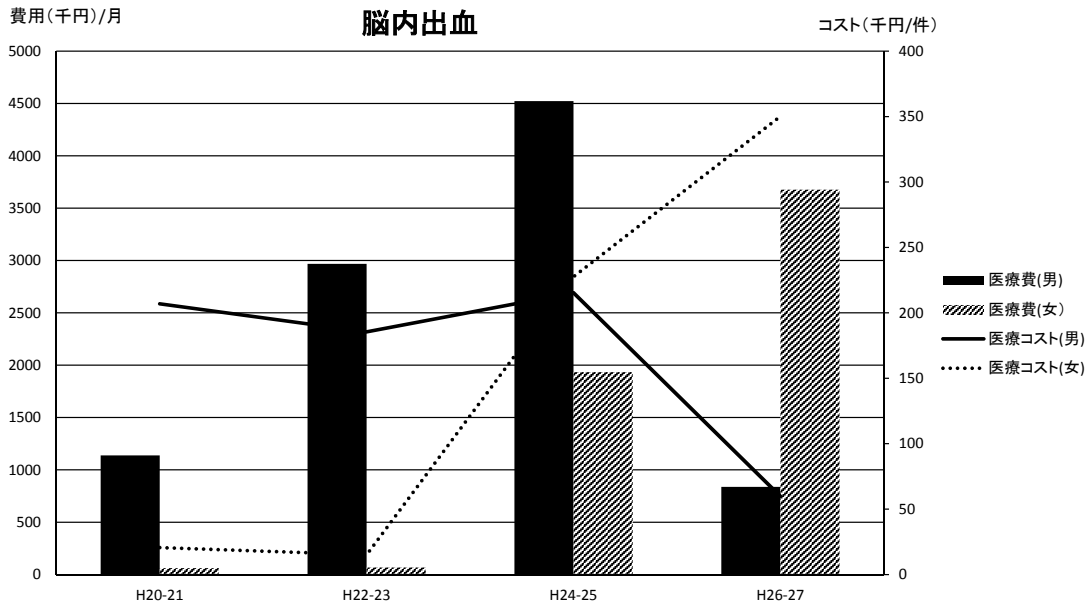
35

# 脳内出血の死亡と受診



36

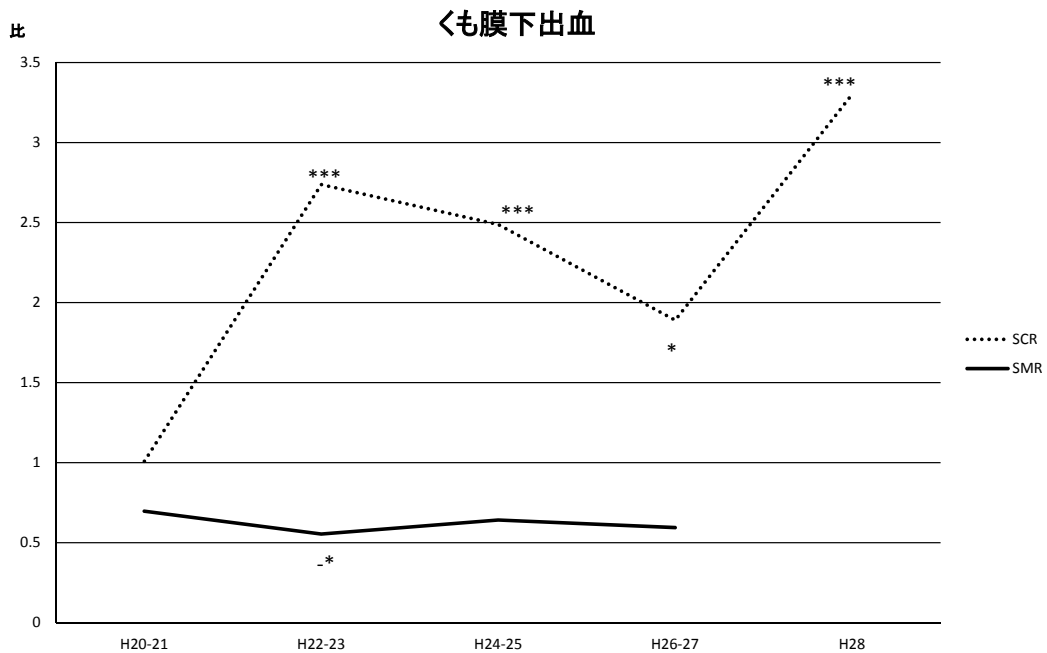
# 脳内出血の医療費、コスト



37

27

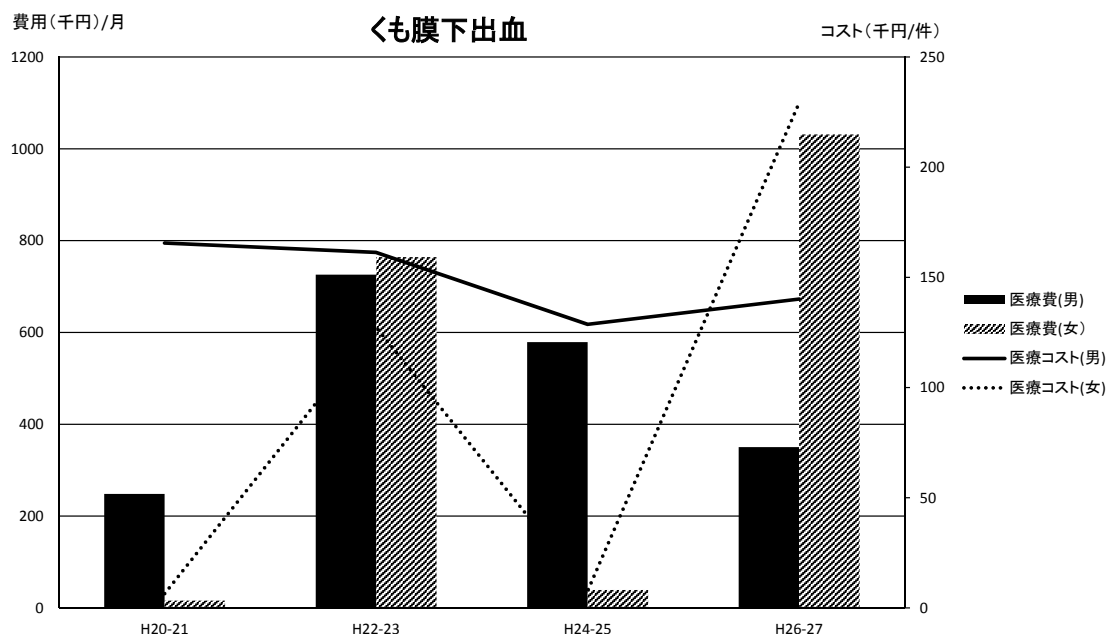
# くも膜下出血の死亡と受診



38

28

# くも膜下出血の医療費、コスト



39

## 循環器疾患のまとめ

- 高血圧性疾患の受診率が低下している。
- 脳梗塞の受診率、また死亡率が低下している。(急性期の医療が効果的に行われていると推測される)
- 急性心筋梗塞の死亡が上昇し、くも膜下出血の受診率が上昇している。
- 高血圧患者の長期未受診者の存在が推測される。

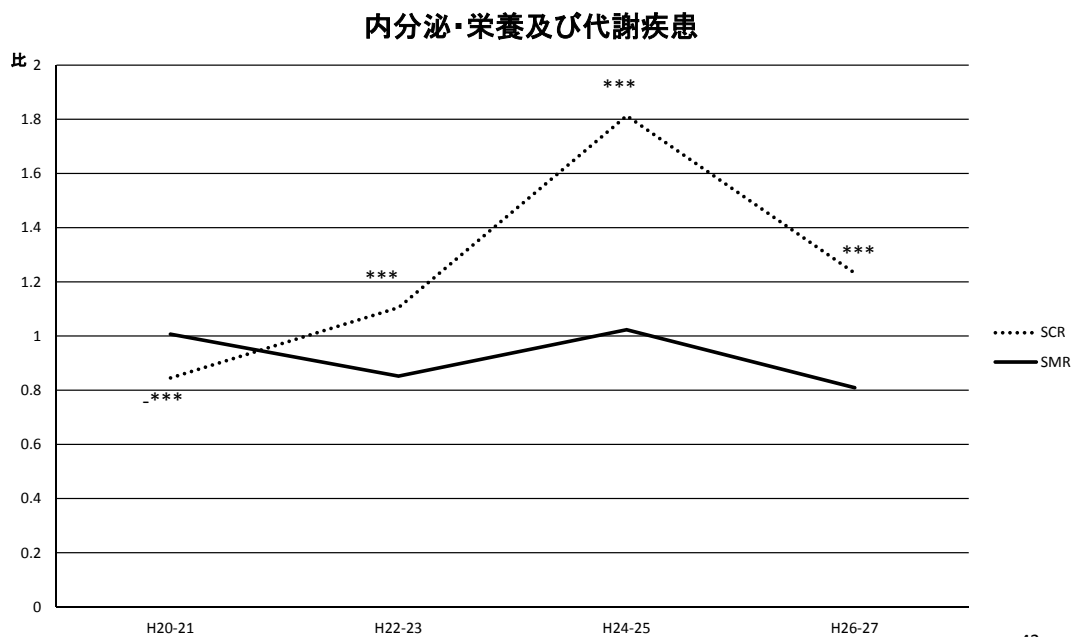
40

# 内分泌・栄養代謝疾患

41

41

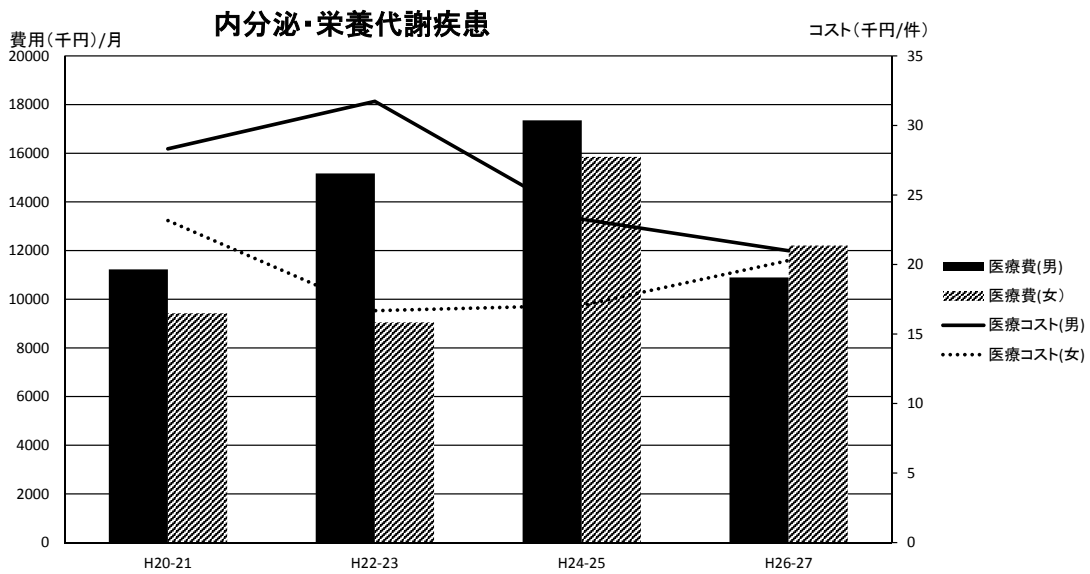
## 内分泌・栄養及び代謝疾患の死亡、 受診



42

42

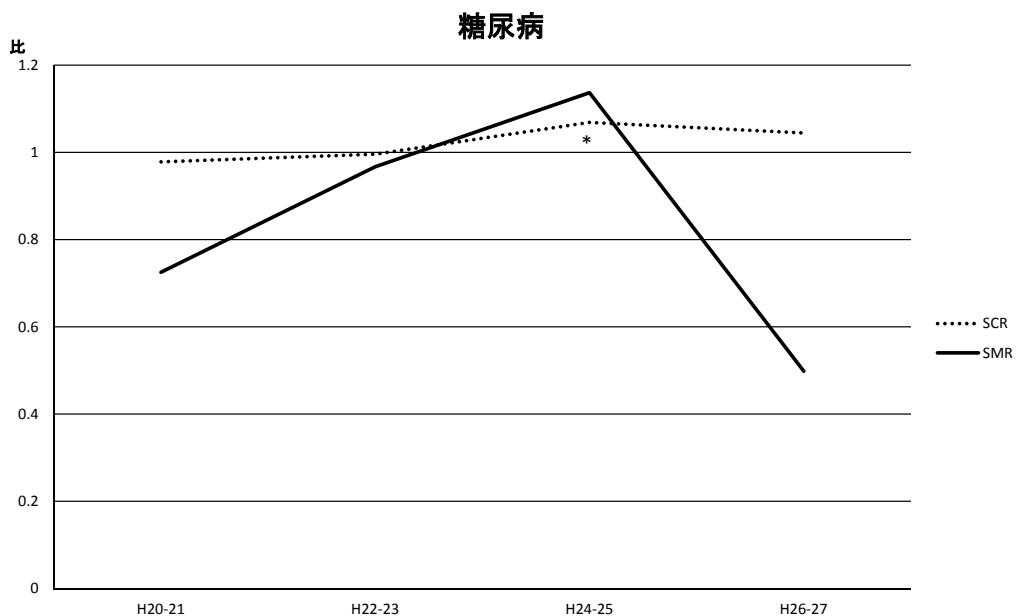
# 内分泌・栄養及び代謝疾患の医療費、コスト



43

43

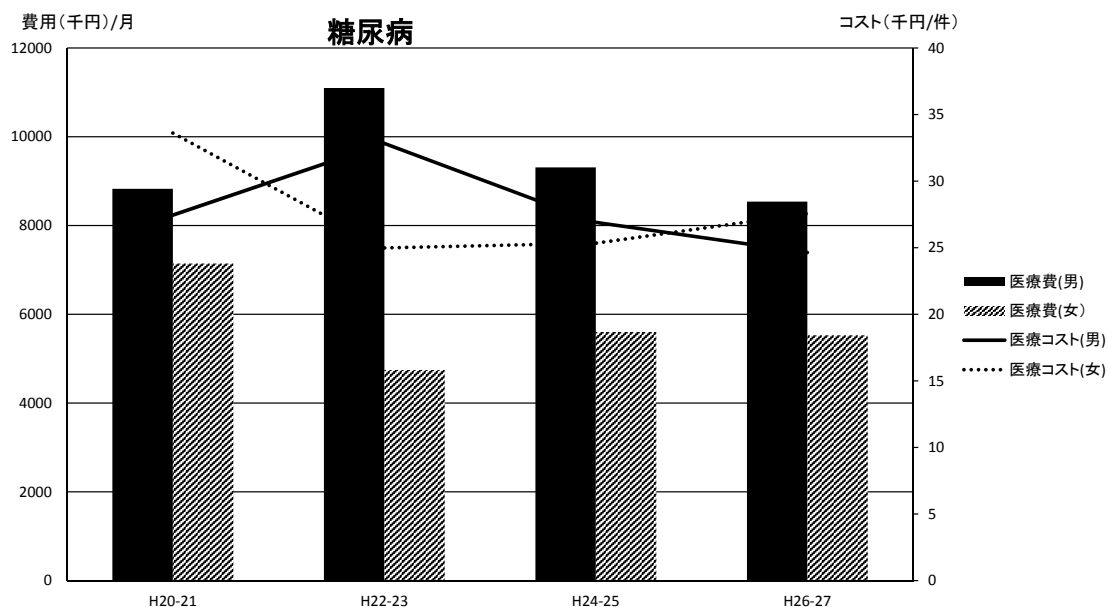
# 糖尿病の死亡、受診



44

44

# 糖尿病の医療費、コスト



45

## 内分泌・栄養代謝疾患のまとめ

- 近年上昇していた医療費は、ピークを越えたと推測される。
- 糖尿病は、死亡が減少している。

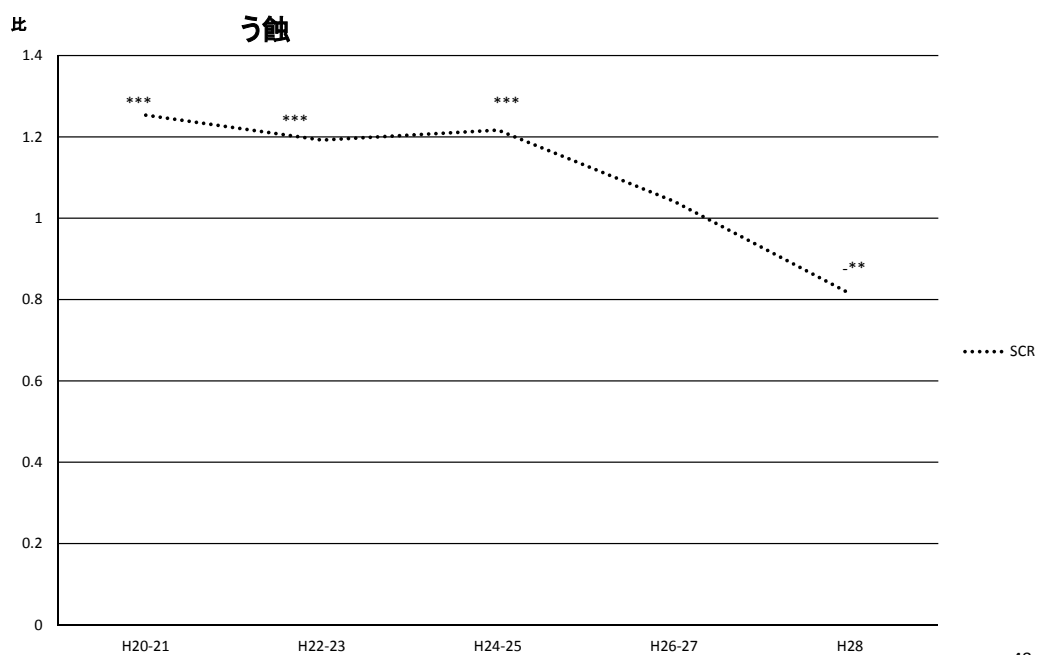
46

# 歯科疾患

47

17

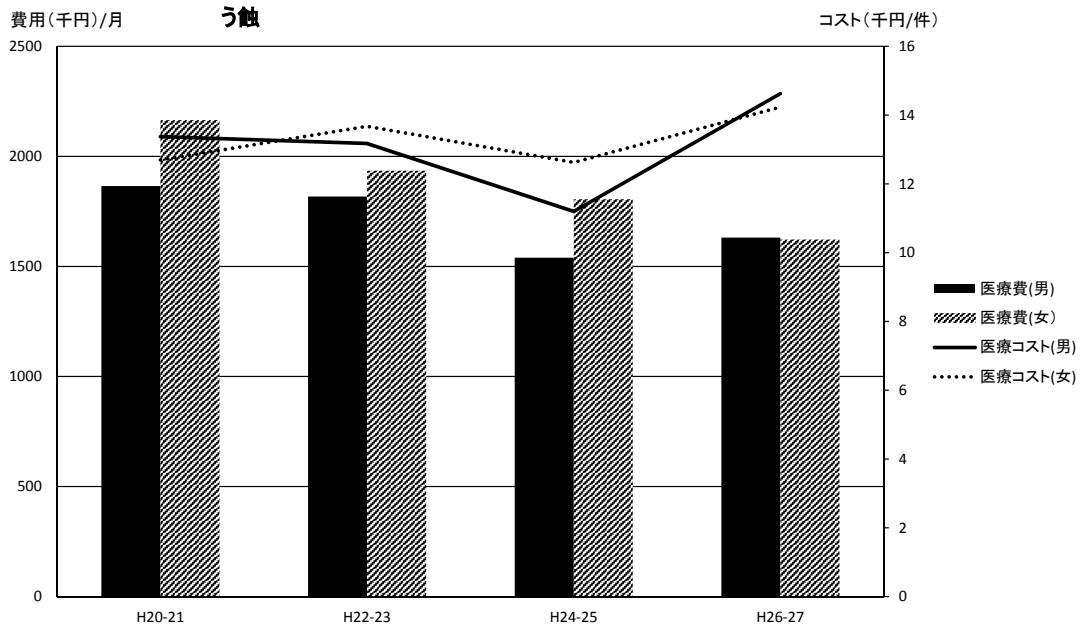
## う蝕の受診



10

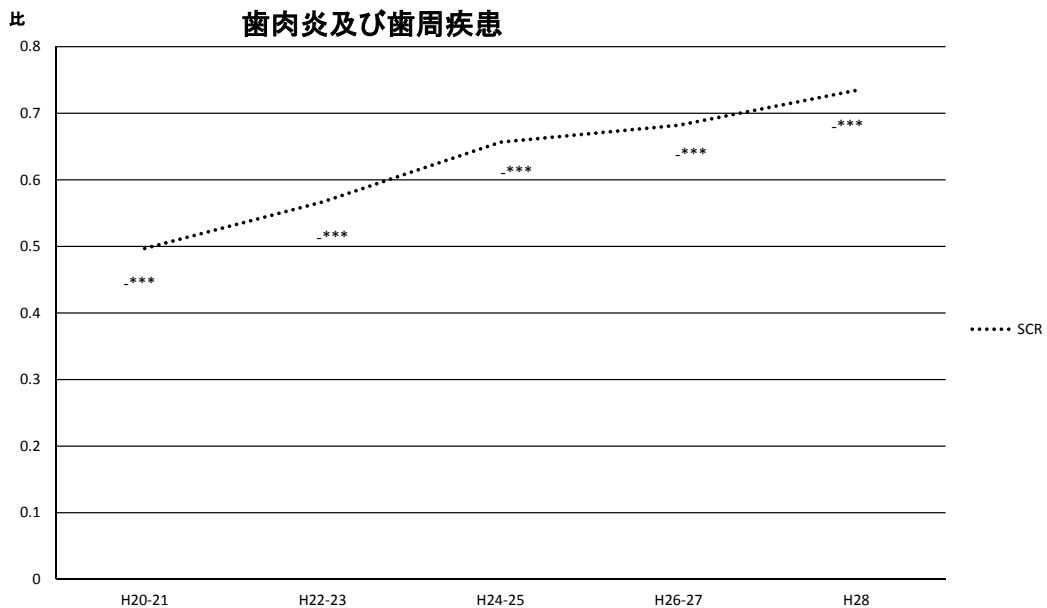


# う蝕の医療費、コスト



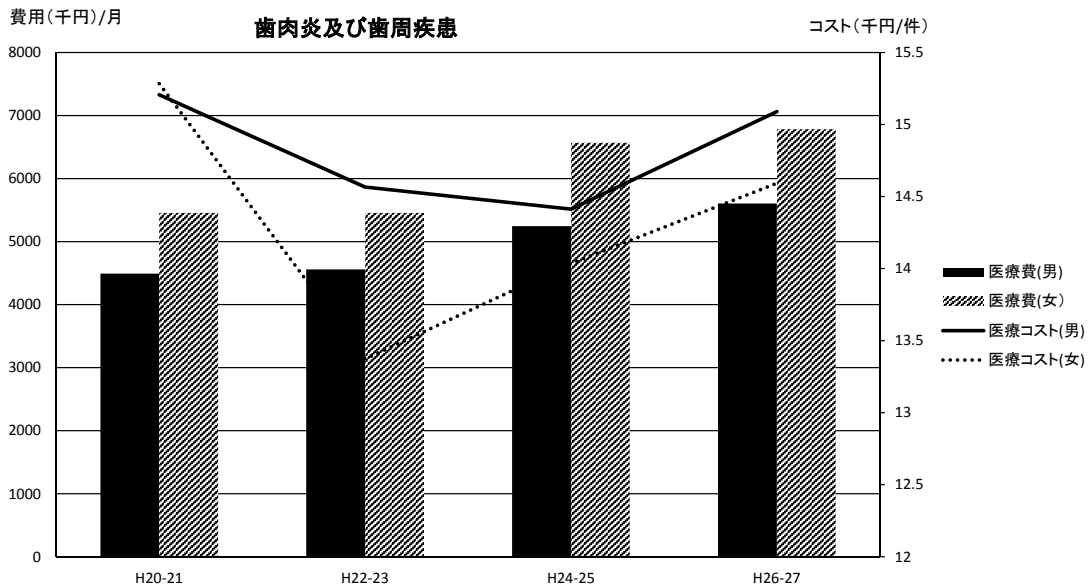
49

# 歯肉炎及び歯周疾患の受診



50

# 歯肉炎及び歯周疾患の医療費、コスト



51

51

## 歯科疾患のまとめ

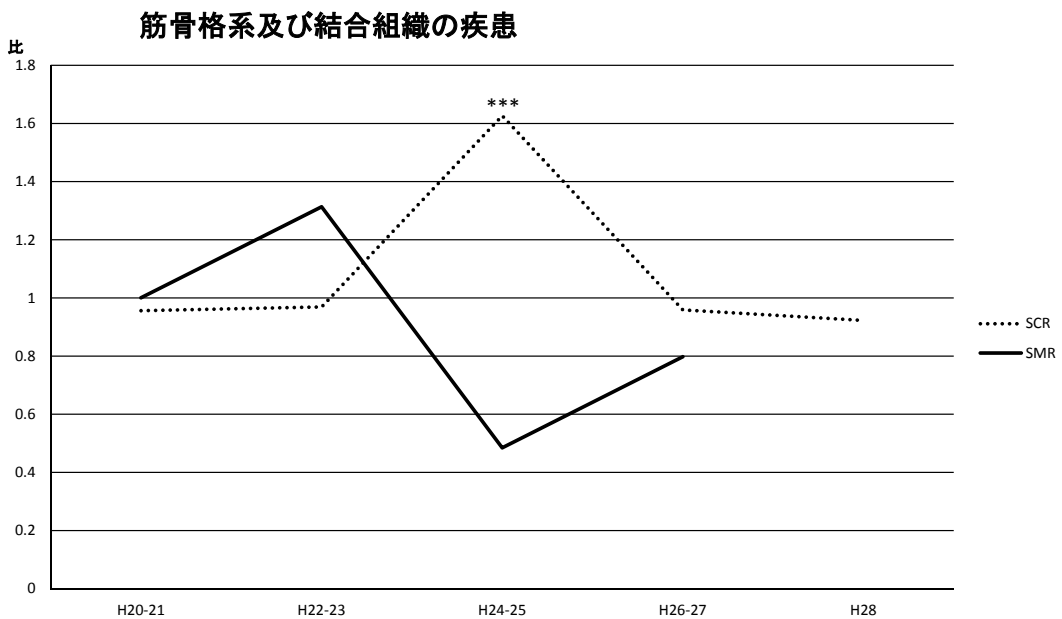
- う蝕と歯周疾患では、歯周疾患の方が医療費が高い。
- う蝕の受診率は低下しており、歯周疾患の受診率は上昇している。

52

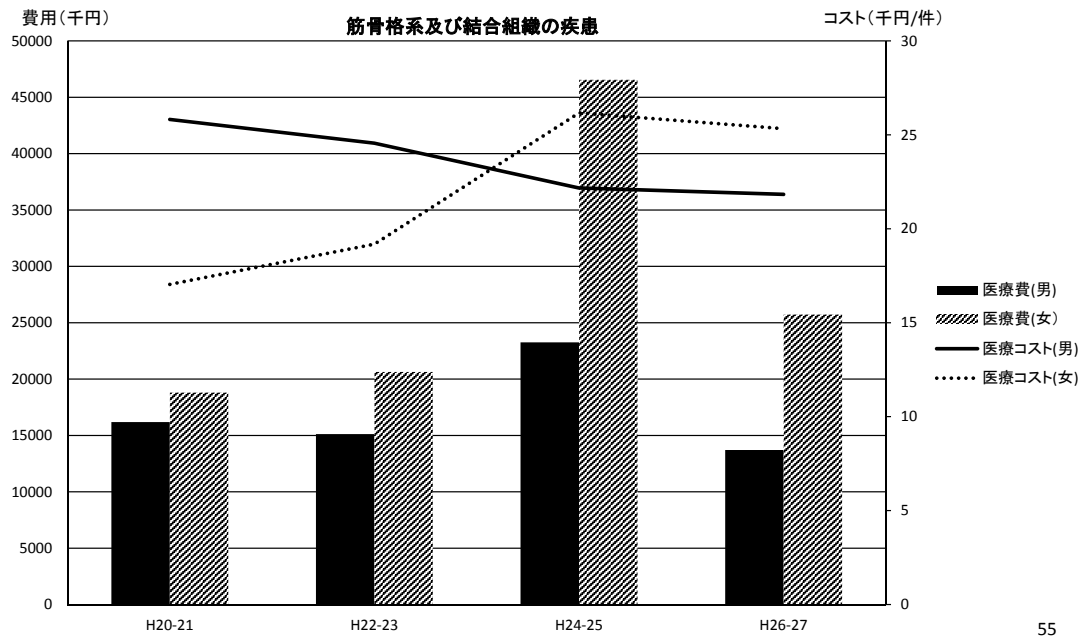
52

# 支持組織

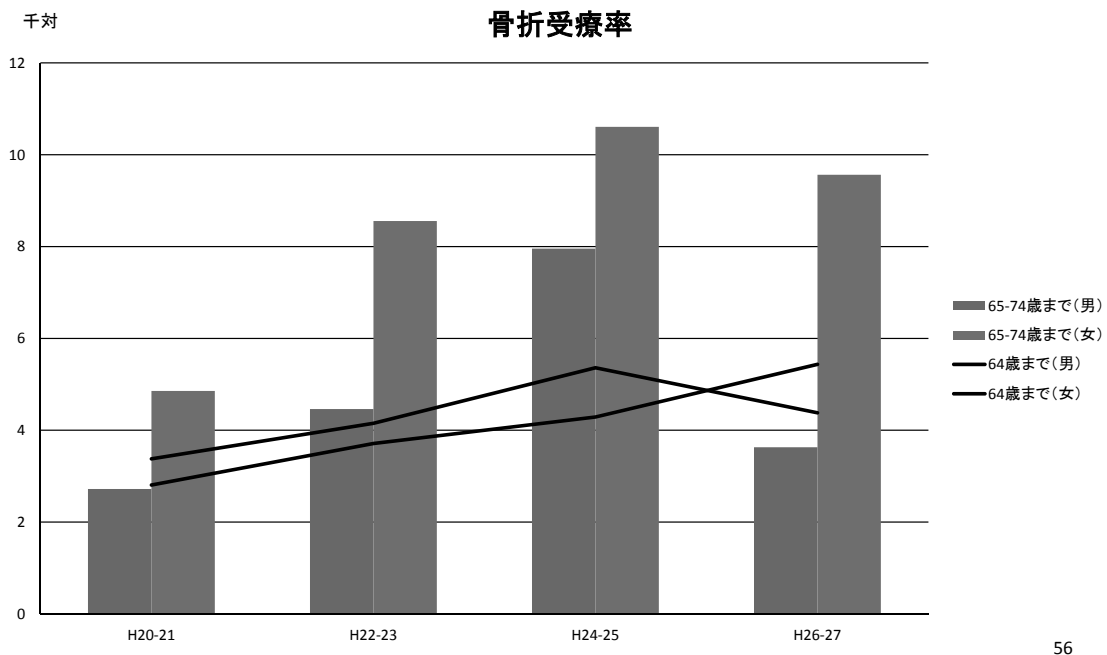
## 筋骨格系及び結合組織の疾患の死亡、医療費



# 筋骨格系及び結合組織の疾患の医療費、コスト



# 骨折の年齢階級別受診



## 支持組織のまとめ

- 近年上昇していた、筋骨格系疾患の受診はピークを過ぎたと推測される。
- 骨折の受診率は、64歳までの男性では増加しているが、近年横ばい傾向ないし減少傾向である。

57

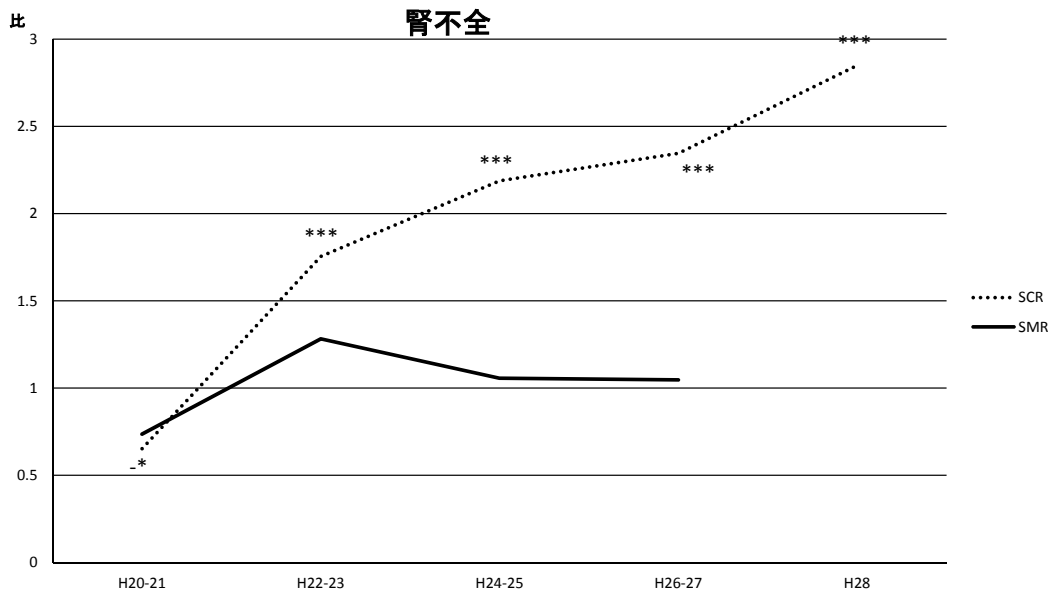
57

## 腎不全

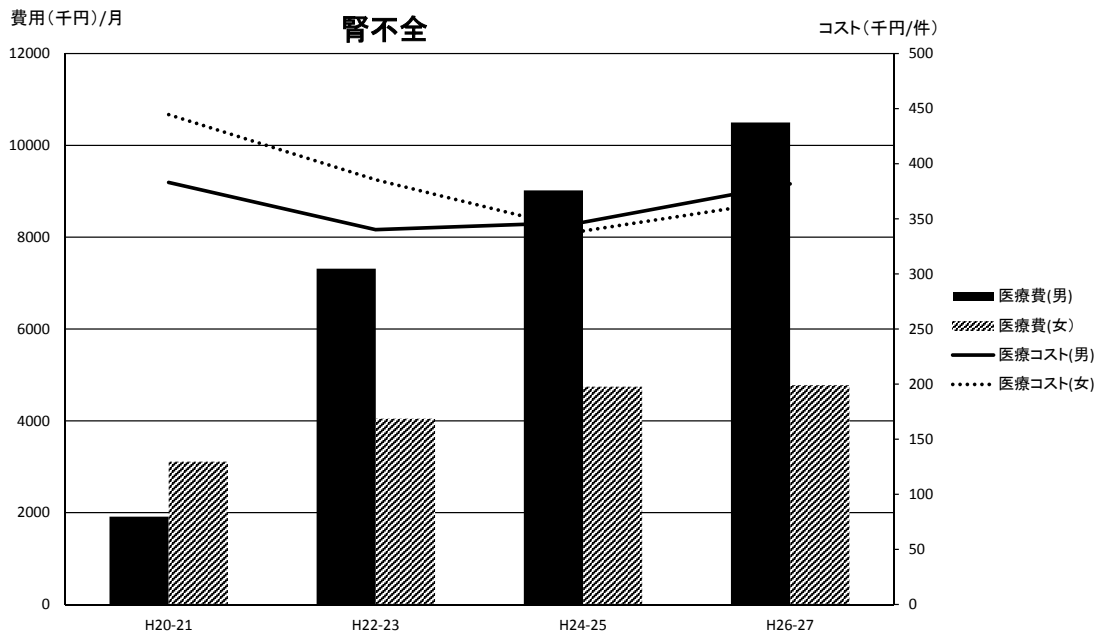
58

58

# 腎不全の死亡、受診



# 腎不全の医療、コスト



## 腎不全のまとめ

- 腎不全の受診率は、上昇しており

61

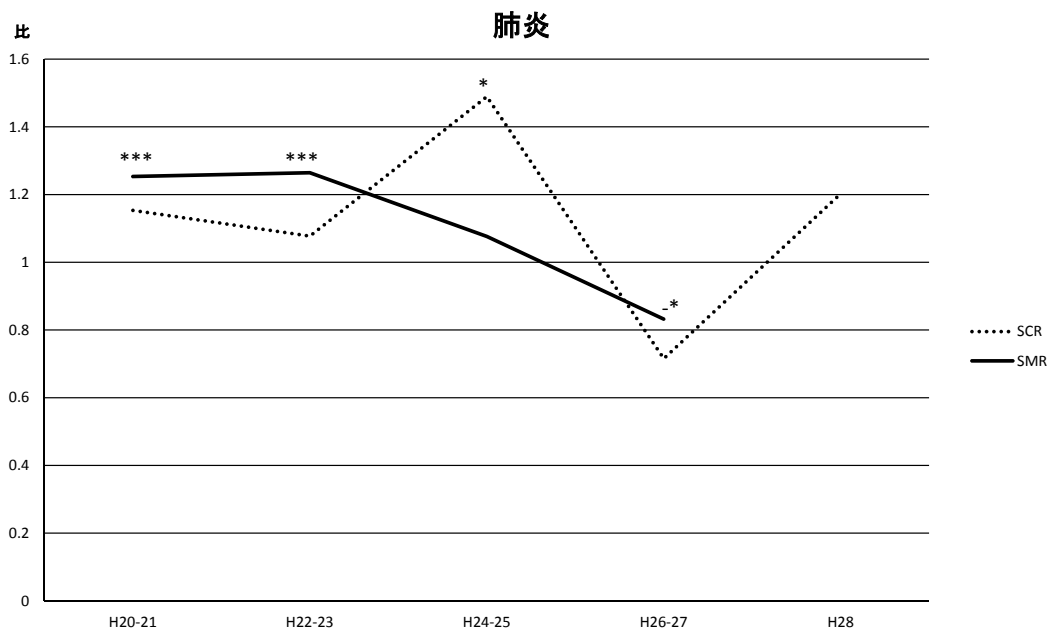
61

## 肺がん以外の呼吸器系疾患

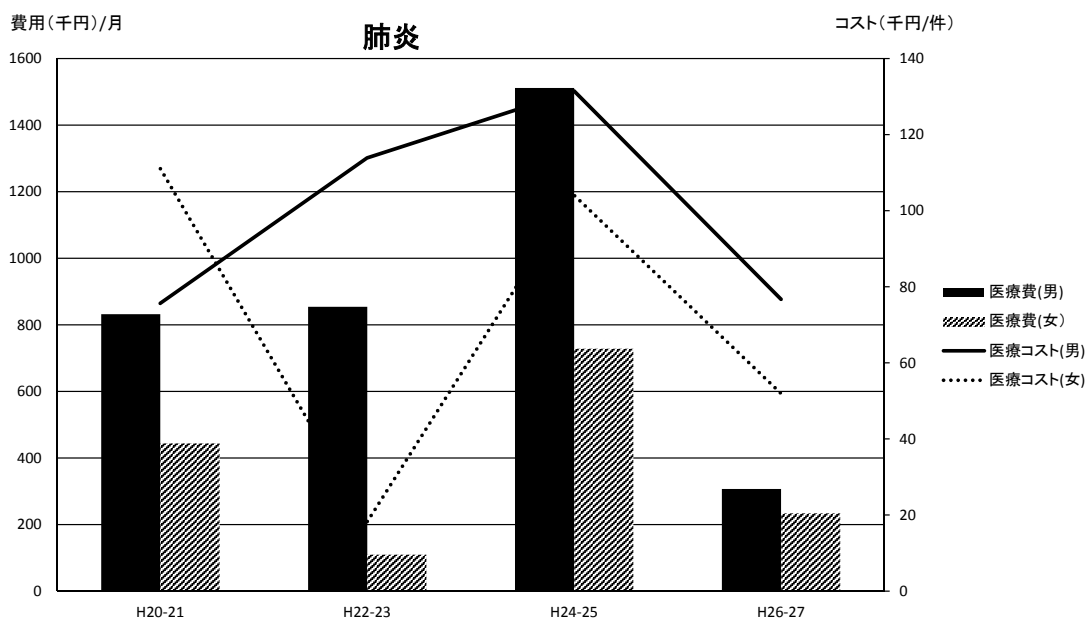
62

62

# 肺炎の死亡、受診

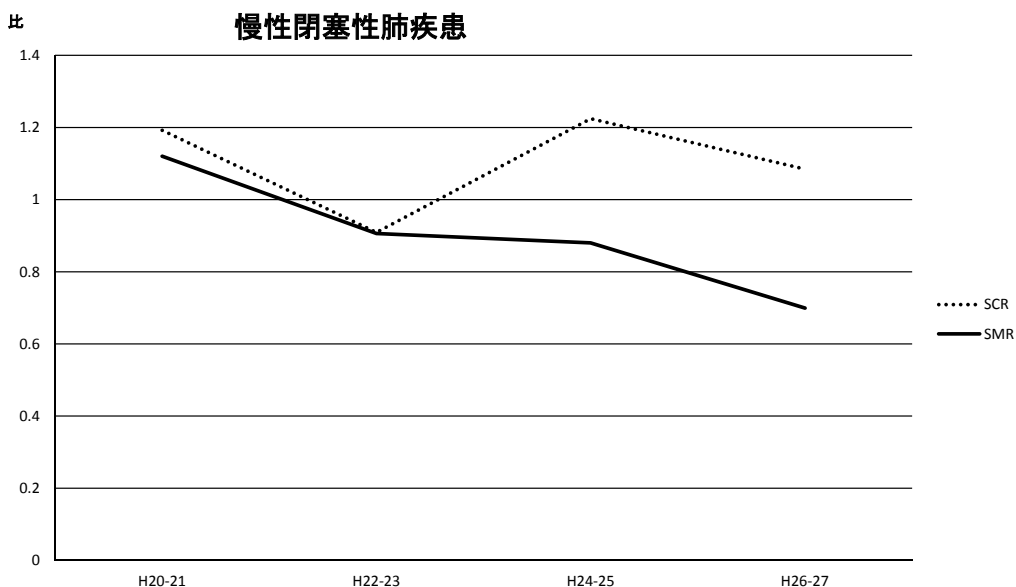


# 肺炎の医療費、コスト



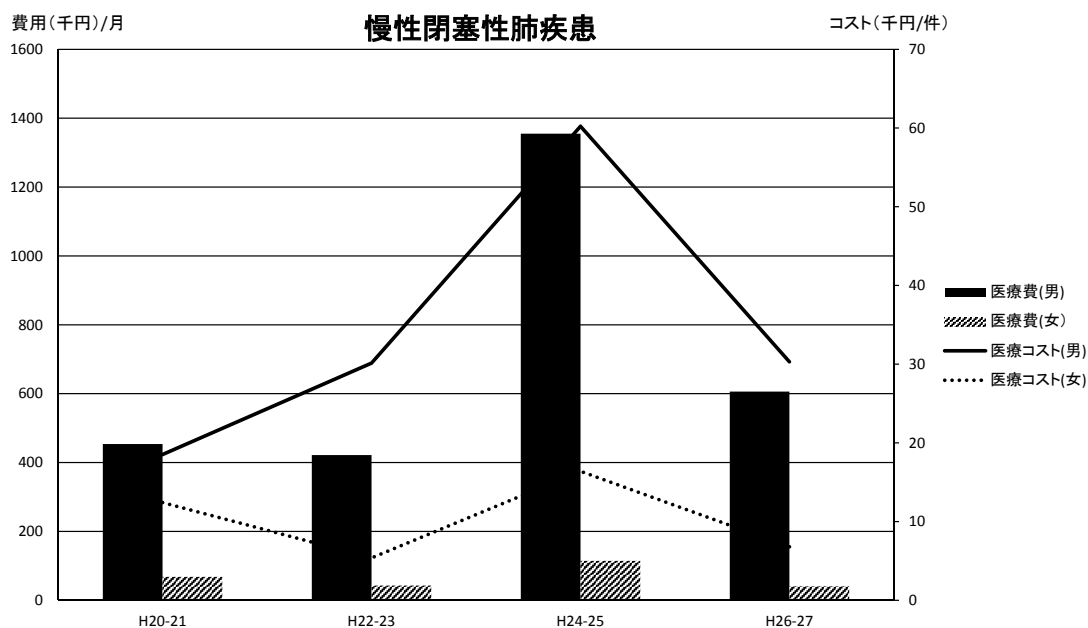


# 慢性閉塞性肺疾患の死亡、受診



65

# 慢性閉塞性肺疾患の医療費、コスト



66

## 肺がん以外の呼吸器疾患のまとめ

- 肺炎は近年減少していて、口腔ケアの普及が効果を表していると推測されるが、H28年は再び上昇している。
- 慢性閉塞性肺疾患は、受診、死亡とも減少傾向である。

67

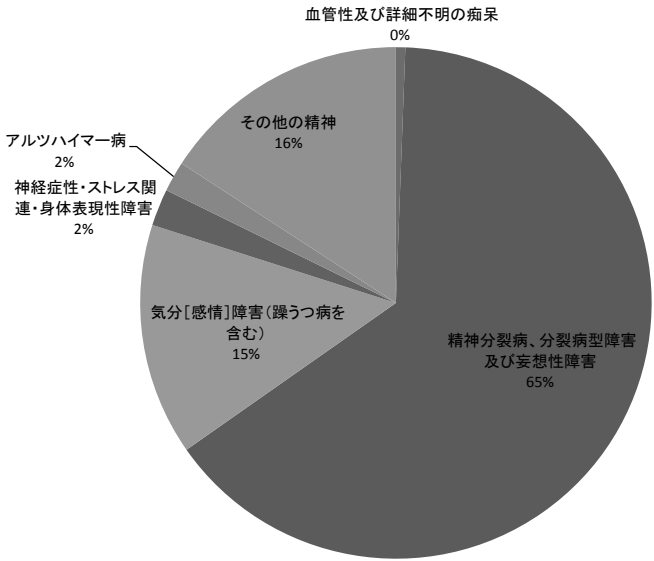
67

## 精神疾患(抜粋)

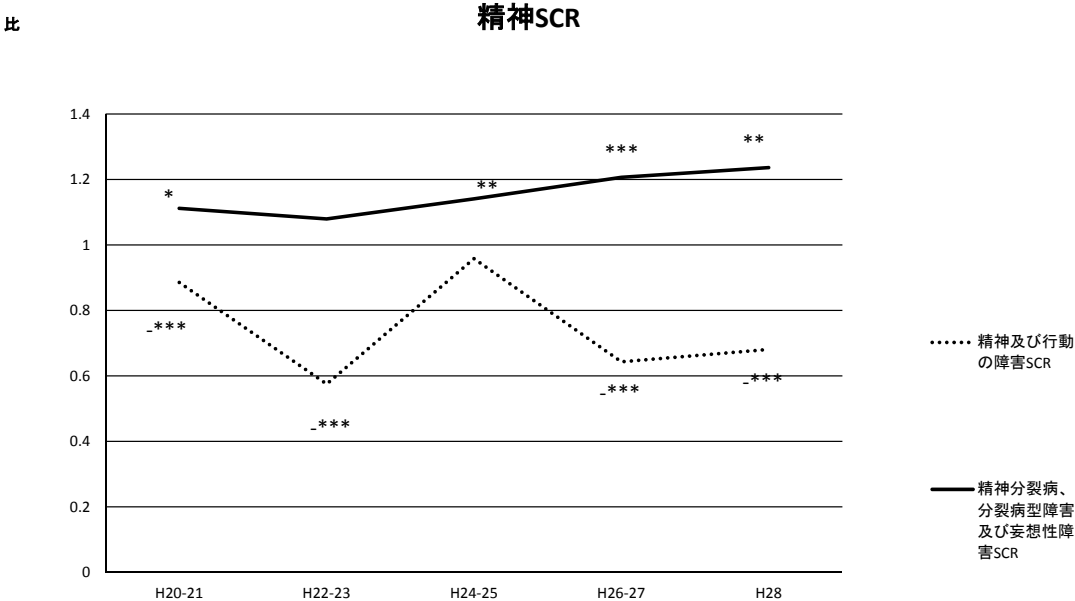
68

68

# 精神及び行動の障害のH26-27の国保5月診療分(74歳まで)の内訳

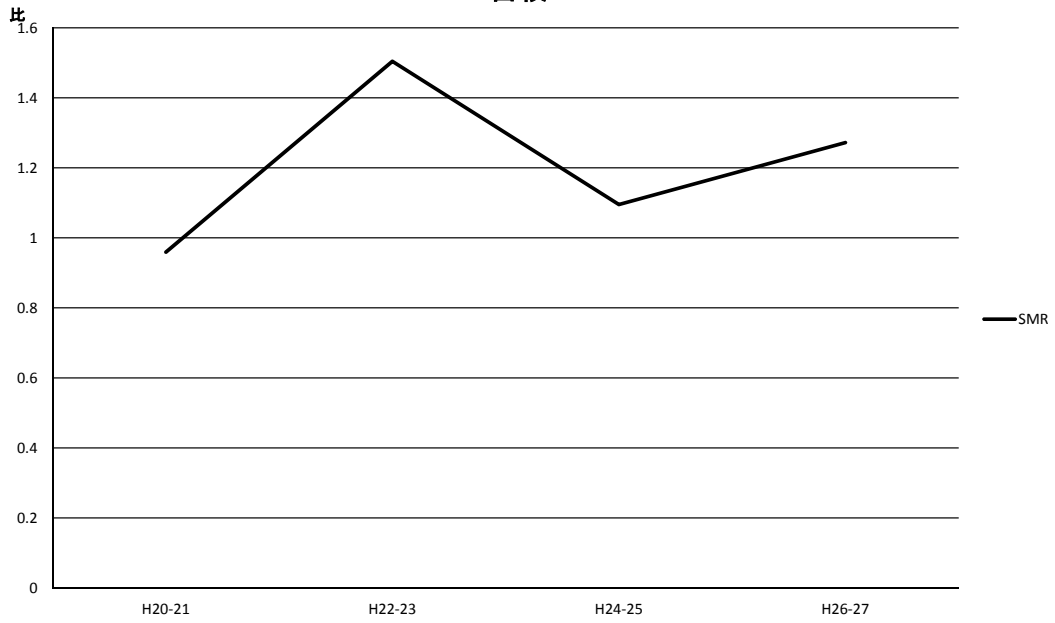


# 精神及び行動の障害のSCR



# 自殺

自殺

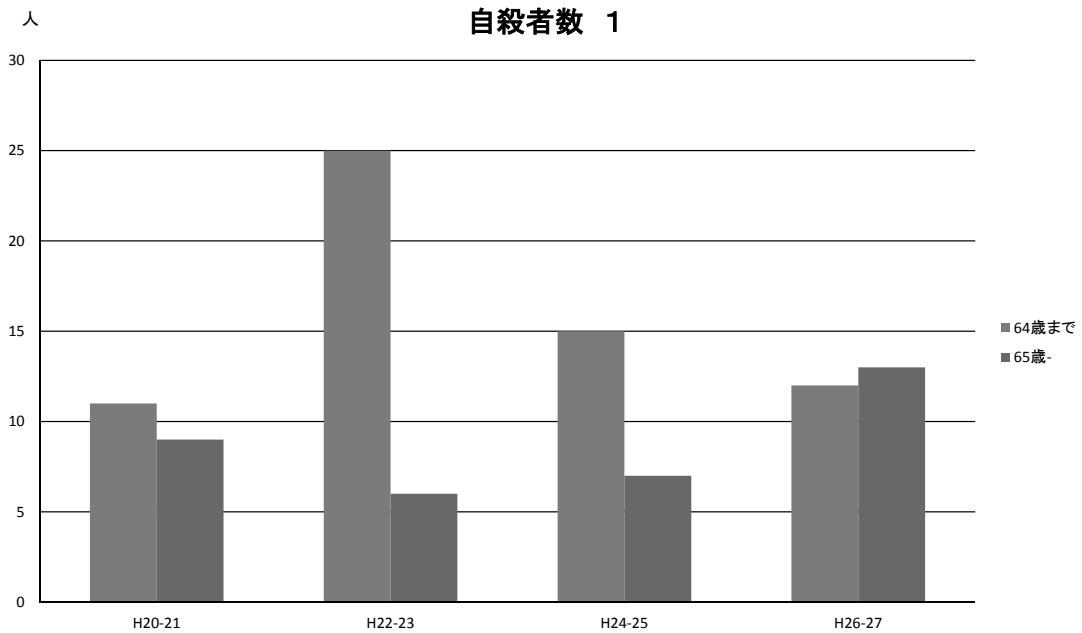


71

71

# 自殺者数

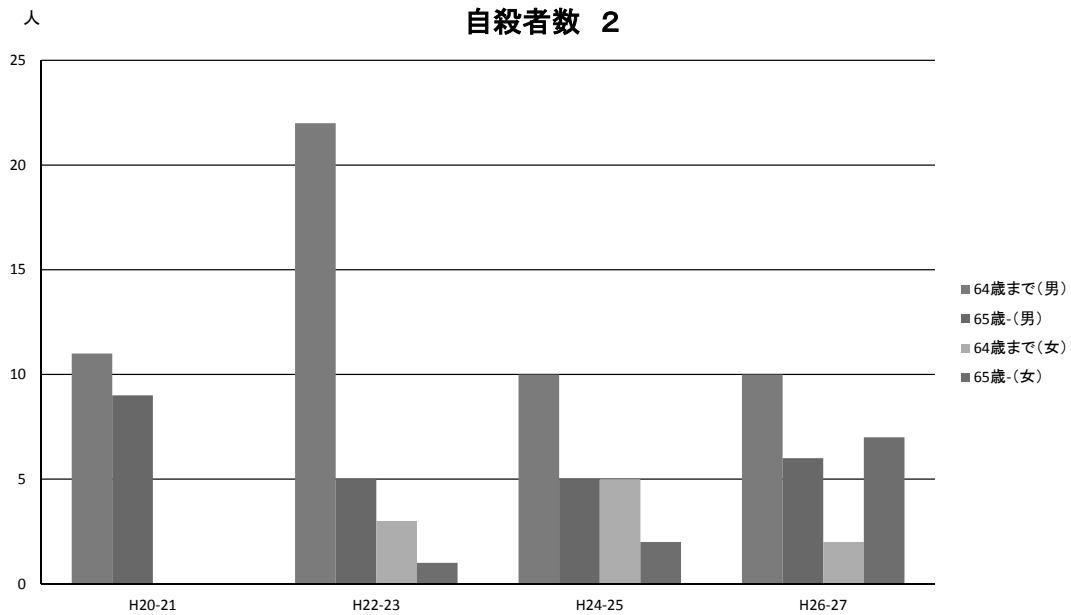
自殺者数 1



72

72

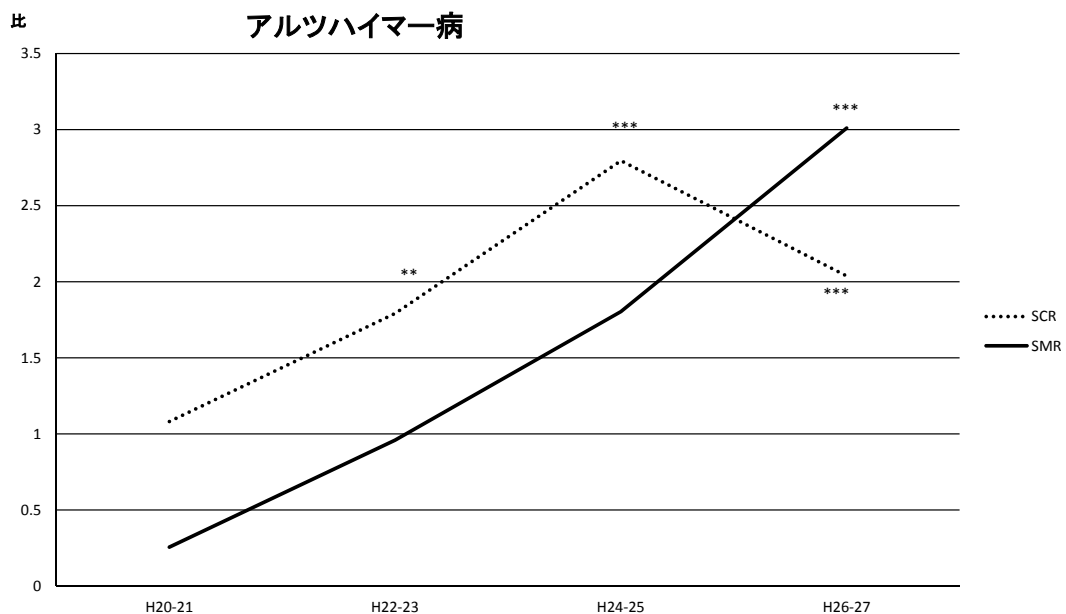
# 自殺者数(特に女性の75-84歳代)



73

72

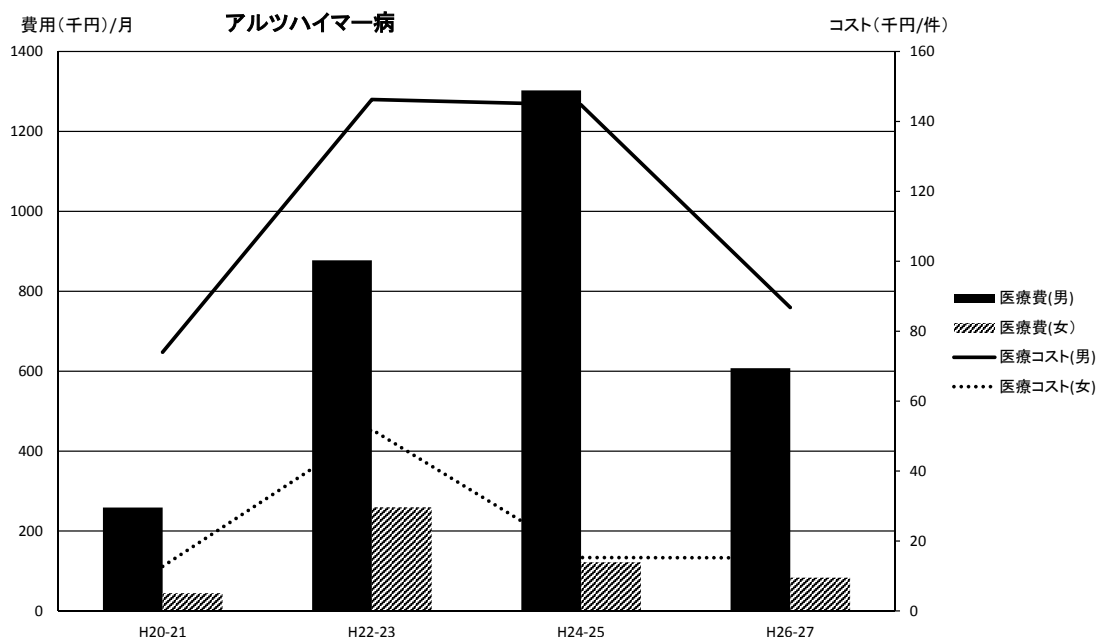
# アルツハイマー病の死亡、受診



74

74

# アルツハイマーの医療費、コスト



75

## 精神疾患のまとめ

- 精神及び行動の障害では、医療費は県全体より低いですが、精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害が65%を占めていて、これは高い。
- 自殺者は、近年高齢者に増えている。また、75-84歳代の女性に増えている。
- またアルツハイマーは、近年受診が上昇していたが、それがとまっている。死亡は、上昇している。

76

75

76

# 感覚器

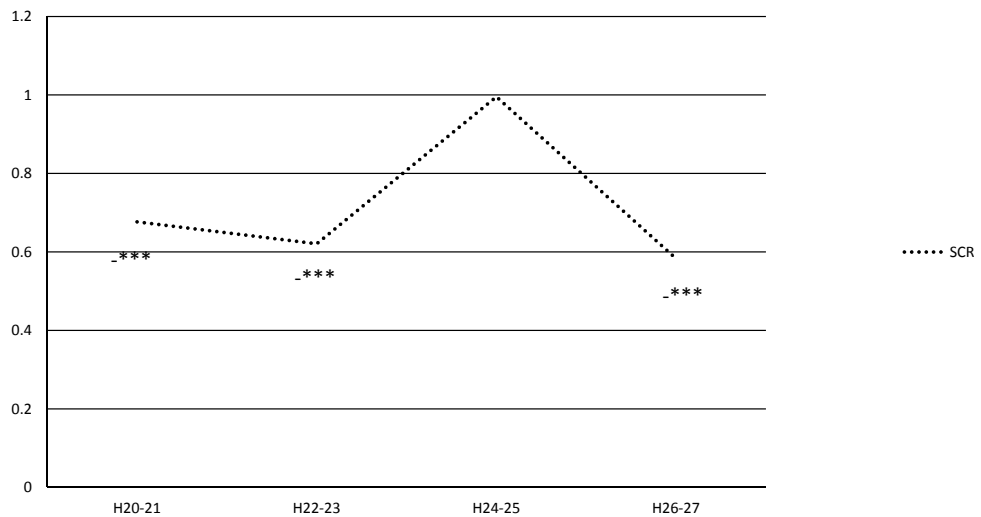
77

77

## 眼及び付属器の疾患の受診

比

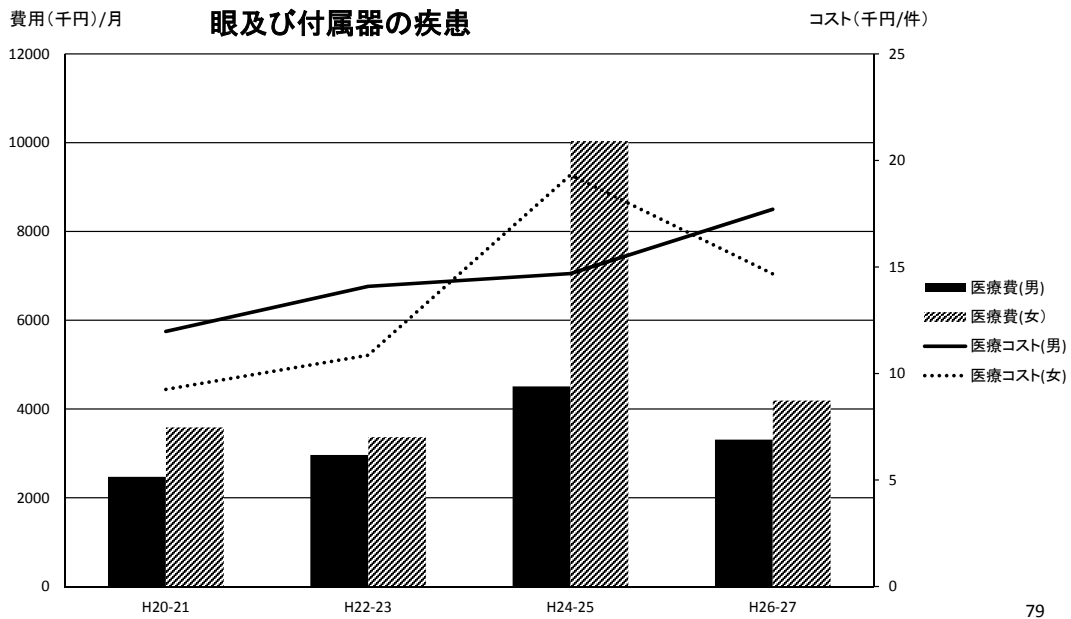
眼及び付属器の疾患



78

70

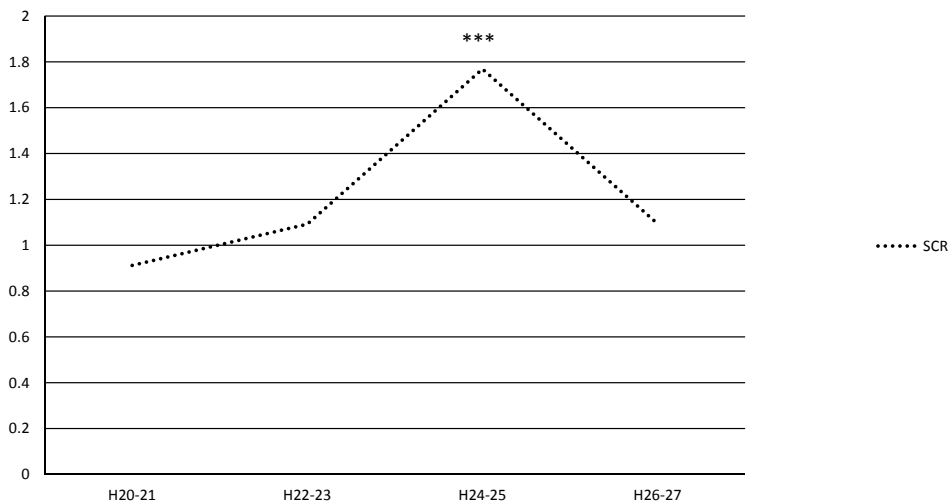
# 眼及び付属器の疾患の医療費、コスト



79

# 耳及び乳様突起の疾患の受診

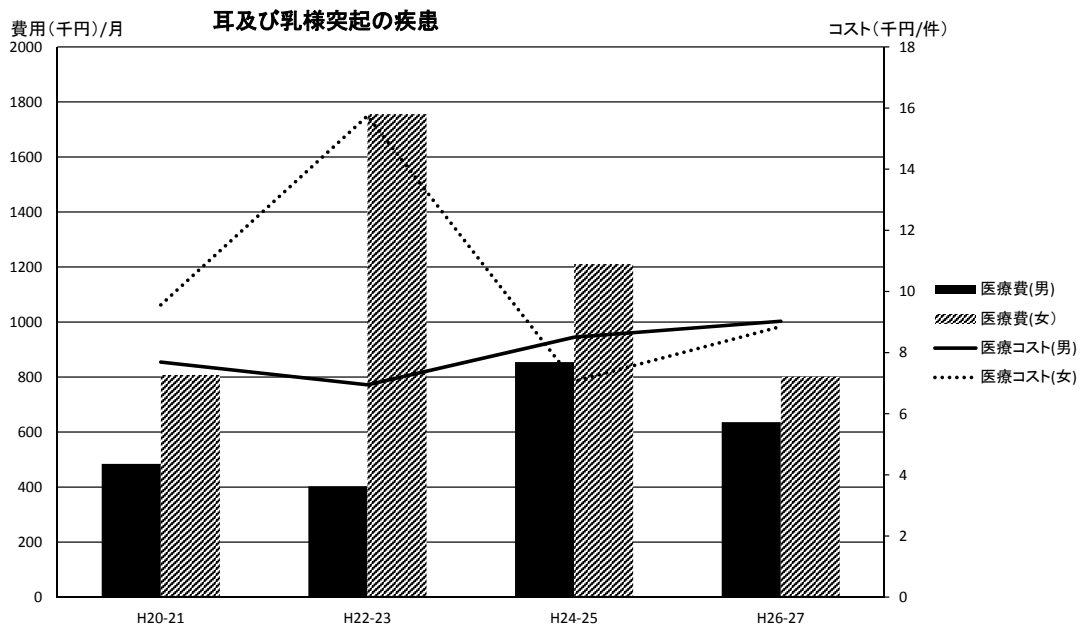
比 **耳及び乳様突起の疾患**



80



# 耳及び乳様突起の疾患の医療費、コスト



81

01

## 感覚器のまとめ

- 眼の疾患は、近年受診が上昇していたが、とまっている。耳の疾患でもほぼ同様である。

82

07

## 改善傾向と評価すべき疾患

- 筋骨格系疾患
- 慢性閉塞性肺疾患
- 肺炎(しかし、昨年は上昇している)
- 感覚器疾患

83

## 悪化傾向、悪化継続傾向

- 結腸癌:特に女性の増加が著しい  
(増加+医療費のコストの増加と推測)
- 直腸S状結腸癌:男性の医療費増加が著しい  
(悪化継続+医療費のコストの増加と推測)
- 乳がん:若い人の死亡の増加
- 腎不全:特に男性  
(一方で、高血圧や栄養代謝疾患の受診率が減少しているので、放置患者の増加が心配)
- 自殺が、高齢者に増えている傾向にある。

84

## わからないもの

- アルツハイマー: 受診率は低下、死亡は上昇している。本当に改善している部分+未受診で将来問題になるケースもあると推測
- 糖尿病: 死亡も下がっているし医療費もやや減少気味か。

85

## 結論1

- 真庭の課題として、大腸がん対策と、腎不全対策があげられる。大腸がんは、がん検診受診率、精密検査受診率の向上、腎不全は糖尿病や高血圧で、長期に受診していない患者へのアクセスが必要→
- 真庭市医師会の診療所の先生方の声掛け
- 愛育委員の声掛け
- 一般広報活動

86

## 結論2

- 自殺予防のため：声掛け運動、高齢者で、身体が十分に動けない場合の生活保障環境の充実
- 認知症対策として、かかりつけの医師が気付いた時の受診勧奨の重要性
- 真庭市の認知症初期集中支援チーム
- 認知症疾患医療センター